（形狀及廣袤）南北延長殆と百五十哩に達し、幅平均百哩あり、其面積は一萬二千六百四十八方哩とす、此土地の一部は、河川より、一部は海洋より、作りたるものなり、此外に二群嶋ありて之に屬し、一は南にあり他は北にあり。

（地勢）全國西北に斜なり其表面は概ね平坦にして、海面より低し、和蘭は即ち歐洲大平原の最も低き處あり。

（灣及海峽）ザイダージー(Zuyder Zee)、ローウエルジー(Lauwer Zee)及びドルラート(Dollart)は最も重要ある曲海にして海峽の重あるものをヘルダー(Helder)と爲す。ザイダージーの口を扼す。

（嶋嶼）マース河(Maas)及びシエルト河(Scheldt)に由て作られたる三稜洲は、無數の嶋嶼を其中に包含し、以てジーランド(Zealand)なる一州を作る、嶋嶼の著名なるものをワルヘレン(Walcheren)と爲す、又和蘭の北方に羅列せる群嶋中最も大なるものをテキセル及びテルシエリング(Terschelling)と爲す。

（海岸及堤防）海岸は至る處甚だ低く、皆堤防ハ白耳義に比し大にして且高し。

（河川）和蘭の大河は、ライン、マース及びシエルトなり、此等の中陸面より高く流るゝものあり、故に和蘭よりては運河を作ること容易ありとす、

（氣候）氣候は概して温和にして殆ど英國と同じく、唯英國よりは濕氣多し、土地空氣共に濕潤なり、但しフリースランド(Friesland)及び東方よ在りては、冬時常に霜多く、無數の運河及び溝渠は氷靴にて往來するを得べし。

（農業）土地既ね耕作に適せず、其百分の十八は澤地にして、四十五は瘠土砂地なり、肥沃のものとては、僅に百分の三十四に過ぎず、裸麥及び小麥を重ある穀物となす、燕麥、大麥、甘藷及馬鈴薯を產出す、其樹園には林檎、梅及び櫻の類多く、花園には鬱金香草其他の草花美麗に生長す、但し此國には良好なる牧場草地ありて、牛酪、乾酪の如きハ最も價値ある產物なりとす。

（ポルダー）「ポルダー」(Polder)とは、風力及び蒸氣力を以て水を乾したる豊饒なる湖底を謂ひ、和蘭の重要ある都分にして、又是に綠草の繁茂するは著き景色なりとす、千八百十五年彼のウヲーターロー(Wateriloo)の戰爭以來、千八百七十五年に至るまで和蘭人ハ、良土美地殆ど十四萬三千、エークルを作出したり。

(漁業) 漁業ハ和蘭の一大富源なり、其海岸には鯡、大口魚、鰈、比目魚等種々の魚類甚だ多し、而して漁業に從事するもの、殆ど一萬人あり。

(製造) 和蘭は、製造國としては其他位高からず、其國には石炭甚だ少なく、粘土は重なる鑛産物にして、陶器製造に用ひらる、木綿、羊毛及び絹織物の製造所あり、玻璃製造所、器械製造所及び酒製造所あり、主として風力を用ふ。

(商業) 和蘭は、十七世紀に於ては世界第一の商業國にして、其商船は他歐洲諸國を合したるものと等しかりしも、他の諸國起りて終ふ其商業の大半を奪去せり、而して和蘭運送業の大半は、今日英國船舶の行ふ處となれり、然れども和蘭は今日尚歐洲諸國に對し殖民地産物の販賣者にして英國の如き、和蘭より買入るゝ物品、一年殆ど二千五百万磅なりと云ふ。

(都府) 和蘭には、人口二萬五千以上の都府十五あり、其中五萬以上のもの五、又十萬以上のもの三あり、眞正の首府はアムステルダム(Amsterdam)なれども、其裁判所及び政府の在る處は、ヘーグ(Hague)なりとす。

一、アムステルダム(人口四十二萬)はザイダーゾーニ臨み九十の嶋嶼に建設せられたるものにして、此等の嶋を連結せる爲め、橋梁三百に及べり。此府は殊に金剛石細工に長じ、之に從事するもの殆ど千人あり、國王は愛に即位の式を行ひ、ヘーゲに住居す。

二、ヘーグ(人口十六萬)は、他の和蘭諸都府の如く、運河縱横に貫通せり、此府は裁判所及び政府のある處にして、宮殿あり、又高大なる繪畫館あり、完備せる博物館あり。

(他の大都府) アムステルダムに次ぐものをロットルダム(Rotterdam)とあす、人口二十一萬なり、ヘーグに次ぐものをウートレヒト(Utrecht)と爲す、人口八萬あり。其他殊に記すべきものは唯ハーレム(Haarlem)、レイデン(Leyden)、ドルト(Dort)及びデルフト(Delft)とす。

(鐵道) 鐵道事業能く發達し、其延長千六百哩に及べり、ウートレヒトは其中心にして、之ゝ達するに六線路あり、

(電信及郵便) 和蘭には電信線路三千哩あり、毎年凡そ四百萬の通信を爲す、郵送書簡の數、一年九千三百萬にして、郵送新聞紙の數七千七百萬なりとす、

(運河) 和蘭には、運河甚だ多く、其長さ千六百哩に達せり、實に和蘭は至る處運河あらざるはなく、大嶋の中心にある都府の如き、運河を以て海と相連結し、河川も亦

運河に由て互に相連結せり。

（人口）人口四百萬あり、平均一方哩三百五十人に當る、南和蘭は最も人口稠密にして、一方哩ゞ七百七十人なり。

（性質）和蘭人の性質は重に二者ゞ由て之を斷定するを得べし、即ち西班牙との長き戰爭、及び水との氷久の競爭是なり。蓋し和蘭人の自由を愛し、甚だ獨立を好み勤勉節儉なる、亦勇猛大膽なる、又不幸に沈みしものを憐むが如き、皆之に由て然るなり。和蘭人は又約束を爲すに躊躇因循なり、然れども一旦約束したる上は、毫も變せずして固く之を守る風あり。和蘭人は又決心に遲々たり、然れども一たび決心したる上は、全力を注いで之を爲すことを務むる性質を有せり。和蘭人は概して寡默能く考ふるも、其樂みを取るに當ては甚だ喧噪なり。和蘭人は又舊習故俗を慕ひ、都會の地尙奇異なる古風の衣服を見るあり。

（政府）王及び兩院の議會は和蘭政府を組織す。

一、陸軍の兵士五萬以上あり。

二、海軍は頗る强大にして、十九の甲艦經あり、其内六艘非常に大なり、一は「キングオブ、ザ、ネザーランド」(King of the Netherland.)と稱し、五千四百噸にして、四千六百六十馬力なり。

（宗教及教育）國教と稱すべきものなし、唯王及び人民の過半は新教を奉せり、他は概ね舊教を奉す、教育は各種共に能く普及せり。

（殖民領地）和蘭の海外屬地は、本國の六十四倍にして、其人口は六倍なり、而して重に東西印度諸嶋に在りとす。

一、大サンダ諸嶋(Great Sundas)、ジャヴァ(Java)、スマトラ(Sumatra)の一部セレベス(Celebes)、ボルネオ(Borneo)等

二、小サンダ諸嶋(Lesser Sundas)、バリ(Bali)、ロムボック(Lombock)等

三、モルッカ諸嶋(Moluccas)即ちスパイス諸嶋(Spice Islands)の一部

四、西印度諸嶋の中キュラソー(Curasoa)及びセントマルチン(St. Martin)

五、南亞米利加の間領ギアナ(Guiana)

丁抹

（緒說）丁抹は歐洲に於て、最も貧弱なる小國にして、又最も人口少き國なりとす。

（境界）丁抹は三面海に接す。

一、北　スカガーラック(Skagerrack)海峽

二、東　カテガット(Cattegat)海峽、サウンド(Sound)海峽及びバルチック海

三、南　バルチック海、リットルベルト海峽(Little Belt)及び獨逸のスレスウヰッグ(Schleswig)

四、西　北海

（廣袤及び形狀）丁抹はジュットランド(Jutland)の一小半島及び群嶋より成る、其群嶋の最も大なるものをジーランド(Zealand)と爲す、面積合して一萬四千百二十四方哩あり、

歐洲に於て北方に突出せる半島は、唯ジュットランドあるのみ、

（海岸線及び斜面）所々に、フィオルド(Fiord)と稱する長き入江あり、海岸線の總長五千哩に達す、獨逸洋に向へる斜面は甚だ長し、

（表面）丁抹は歐洲大平原の北端にして土地低く最も高き所と雖も海面上五百呎に過ぎず。

（岬、入江及び海峽）重要なる岬として、唯スコー岬(Skaw Cape)の一あるのみ、ジュットランドには、那威の如く、入江多し、其の最も長きものをリムフィオルド(Lymfiord)と爲す、海峽の重要なるものは、サウンド、グレートベルト(Great Belt)及びリットルベルトなり。

（島嶼）丁抹の嶋嶼はボーンホルム(Bornholm)を除くの外、互に相接近し、殆どバルチック海の入口を塞げり、其最も大なるものをジーランドと爲しフーネン之に次ぎ、ラーランド(Laaland)又之に次ぎ、其他小嶋頗る多し。

（河湖）土地狹くして、大河なく、重要のものとては、唯グデナー(Gudenaa)の小流あるのみ、長さ殆んど九十哩あり、湖沼は頗る多し。

（氣候）丁抹の氣候を知らんと欲せば、先づ次の三者に注意すべし、(一)遙か北方に位すること、(二)土地低きこと、(三)何れの處よりも海に近きこと是なり、而して國は、東西歐羅巴の間に位し、二者の氣候を分有す、其氣候、夏時に於ては英國より熱く、冬時

に於ては、是より寒し。

（植物）森林は概ね樅木より成る、最良の雜草甚だ多し、又穀産地として、丁抹い英國、白耳義と伯仲の間に在り。主要なる穀物を燕麥となし、大麥、小麥、裸麥之に次ぐ、人民の一半は農業を務む。

一、丁抹は其人口に比して、穀物の産出多きこと歐洲第一とす。

二、牛馬飼養は此國の重なる産業にして、牛馬の數頗る多し、蓋し牧草に富めるに由る。

（動物）野獸及び野禽は、中央歐洲に於けるものと同じく、四足獸の大なるものは既に其跡を絶てり。

（礦物）礦物の點に於ては、丁抹は歐洲最貧國の一なり、此國石炭の少量を産し、鐵礦なく、又貴金屬なし唯だ陶器製造に供すべき粘土を富めり、

（製造）丁抹に於て、有名なる工業を陶器製造とす、麻布、毛布及び木綿製造は唯一地方の消費に供するのみ。

（商業及び海港）丁抹の輸出の最大なるものを牛酪と爲し、牛、馬及豚之に次ぐ。

一、英國は此國第一の取引先にして、瑞逸之に次き、瑞典、那威又之に次ぐ。

二、海港の重要なるものをコペンハーゲン（Copenhagen）、ヘルシノール（Helsingor）、アールフース（Aarhuus）及びアールボルク（Aalborg）とす。

（首府）首府をコペンハーゲンとす、人口三十八萬あり、此國唯一の大都府、唯一の製造所あり、大學及び造兵局此地に存す。

（其他の都府）コペンハーゲンに次て、アールフース（三萬五千）及ひオデンシー（Odensee 三萬）の二府あり、オデンシーハフーネンの首府にしてアールフースはカテガットに於ける重要の港なり。

（鐵道及電信）丁抹に於る鐵道の延長、殆ど千三百哩あり、ジュツトランドに於ては南北に走り、嶋嶼に於ては、東西に亘り、以て直角を成せり、又電信線の總長三千六百哩あり。

（人口）丁抹の人口は二百萬あり、平均一方哩に付百四五十人に當る。

（政府）丁抹は立憲政體なり、其國會は元老院と衆議院とより成る。

（教育）丁抹の教育は甚だ盛にして大都府に於ては、善美なる神學校、技藝學校あり、村落に於ては善美なる小學校あり。

(外國領地) 丁抹は北太西洋に於けるアイスランド、フアロー諸嶋(Faroe Islands)、西印度に於る二島、及びグリーンランド(Greenland)の海岸に於る二三の殖民地を有す、

アイスランドは、丁抹を去る殆ど千六百哩に在る大嶋にして、其大さ丁抹に三倍すれども、人口はコペンハーゲンの四分一に過ぎず、内地には火山多く、其數二十有餘あり。其最も有名なるをヘクラ(Hecla)山といふ高さ六千呎あり、其噴火を止めたるは、千八百七十五年なりとす。又此嶋の沸泉は、久しく世に知らる其大沸泉の如きは、噴出の高さ六十呎に及ぶと云ふ。全嶋内樹木穀物皆生せず、唯馬鈴薯及び少許の菜蔬を生ずるのみ。

スカンヂネビヤ

(緒說) スカンヂネビヤは、バルチック海の一端に起り、西より行くに從ひ、次第に高くなり、遂に峭壁直下して海に落つ、而してバルチック海に向へる斜面を瑞典となし、急に太西洋に下るものを那威と爲す、無數の嶋嶼、此半嶋の西岸に羅列せり。

(海角) 那威の最北端をノードキンと爲す、又大陸中の最北點なり、歐洲の最北點ハーマゲロー嶋端の北海角なり、那威の最南點をサンドハンマー(Sandhammar)と爲す。

(形狀及び廣袤) スカンヂネビヤは、歐洲最大最長の半嶋にして、緯度十六度に擴がる、其中六度は北極圏中に在り、此半島北部及び中部に狹く、南に至るに從ひ廣し、伊太利と同じく、南に於て二に分る、面積總計二十九萬四千百八十四哩あり。

瑞典凡そ十七萬一千方哩、那威は凡十二萬三千方哩なり。

(地勢) 半嶋全く高原にして、南方に至るに隨ひ、其高度を增す、此半嶋には眞正に山嶽と稱すべきものなく、只處々に岩石の地面より高く聳ゆるか如きあるのみ、此半嶋の短き斜面を那威と爲し、長き斜面を瑞典となす、那威は高原山嶽の狹き地方にして、瑞典は斜に下る大平原の廣き土地あり、那威は一の高原、一の山塊にして、處々に深き峽路罅裂及び両岸岩石を以て圍める、フイオルドあり、瑞典は中央部の或る地方は高原にして、其他は長き低き平原なり、故に瑞典の河川は、皆長くして大なり、那威の河川に至りては、瀑布をなして、深き、フイオルドに直下す。

（海岸線）　那威海岸には、二個の特色あり、（一）「フィオルド」とて、海水の深く陸地に侵入したるもの、（二）海岸に無數の嶋嶼羅列せること、是なり。嶋嶼の最も有名なるものを那威海岸にては ロフオデン 諸嶋（Lofoodens）と爲し、瑞典にては ゴットランド（Gothland）及び オーランド（Oland）と爲す。海岸線未だ測量を經ざれども、那威に於ける海峽の航行し得べきものゝみにて既に一萬二千哩あり。

（臺地及び山嶽）　スカンヂネビアの臺地にて有名なるものを、ドーブルフィールド（Dovrefield）、ランゲフィールド（Langefield）及び ハルダンガーフィールド（Hardangerfield）と爲す。ドーブルフィールドの北に在りて、高地の長く連れるものを キール（Keel）或は キオレン（Kiolen）と稱す。

臺地の中最も高き部分は六十度乃至六十三度の間に在り、故に最も高き山嶽も、亦其中に在りて、此山嶽は普通スカンヂネビヤのアルプスと稱せらる。最も高き嶺を ガルドヘッピグ（Galdhöppig）と爲す、高さ八千四百呎にして、那威の ジャーツンフィールト（Jötunfield）に在り。

（河湖）　スカンヂネビヤの河川は、皆其水量の多きを以て有名なり。主要なるものを グロムメン（Glommen）、ゴタ（Gotha）、ダル（Dal）及び トルネー（Tornea）と爲す。瑞典の河川は皆相平行し、直に バルチック を指して流る。瑞典の湖水頗る多く、河川皆進流中に大湖を有せざるものなし。大湖は重に南方に在り。ウェーネル（Wener）、ウェッテル（Wetter）及び メーラー（Mälar）は其三大湖なり。ミオセン（Miösen）は那威の最大湖なり。此等の湖は皆百日間乃至二百日間氷結するものとす。

（氣候）　此半島の西海岸は、灣流より暖氣を受くるを以て港灣の氷結するものなし。其緯度の高き此の如くにして、其氣候の温暖なるは世界其類を見ず。那威、瑞典間の高原は、太西洋より吹き來る濕潤の風を遮るを以て、瑞典海岸は乾燥寒冷にして稍大陸的氣候と有す。內地に至りては、夏甚だ短く冬甚だ長し。西海岸は夏時涼しく、冬時温和なり。

（植物）　瑞典の一半及び那威の四分一は、大抵森林を以て蔽はる。高原に於ては、主として蘚苔及び灌木あり。松、柏、樺木類は北方に產し、秦皮、楡は中部に生し、桂、山毛欅、菓樹は南方に在り。小麥は、北方六十三度に至るまで、燕麥は六十八度、大麥は七十度に至るまで生長す。瑞典に於て、耕地は僅に百分七に過ぎず。那威に於て最も豊饒な

る地方は、ミオセン湖の周圍なりとす。

(動物) 松柏の大森林には今尚狼、大野猫、熊の如き動物棲居せり。然れども其數速に減少に向へり。馴鹿は高原地方に群を成し、麋鹿は瑞典に甚だ多し。亦鷲、鷹、鵠、雁の類あり。其他無數の海鳥は那威の岩石島に棲めり。

(礦物) 瑞典は鐵礦に富み、其質甚だ好し。亞鉛、銅及び少量の銀亦採掘せらる。石炭の產出は夥しとす。那威は礦物少く、只少量の銀、銅、鐵を產するのみ。

(產業) 重なる產業は、瑞典に在ては農業、那威に在ては航海漁業とす。之に次ぐものは、瑞典にては礦業、那威にては農業にして、兩國共に必要なる職業を森林業とす。

(商業) 瑞典は主として材木、金屬及び穀類を輸出し木綿、毛布及び珈琲、砂糖を輸入す。那威は主として材木、魚類を輸出し、穀類及び各種の製造品を輸入す。

(鐵道及び電信) 瑞典は其人口に比して、鐵道甚だ長く、反之那威は、歐洲中最も人口稀薄の國にして、鐵道の延長甚だ短し。瑞典は其延長二千哩に及び那威い千哩に足らず。又電信線い、瑞典に於てい二萬三千哩にして、那威に於ては、一萬哩あり。

(人口) 瑞典は面積十七萬一千方哩にして、那威は十二萬三千方哩あり。スカンヂネビヤい魯西亞に次で、歐洲の最大國あり。瑞典い人口四百五十萬餘にして、平均一方哩二十八人の割合なり。那威い人口凡そ百萬にして、平均一方哩唯十八人に當るのみ。

(瑞典の都府) 瑞典にい人口五萬以上の都府僅に二あるのみ。ストックホルム(Stockholm)及びゴテンブルグ(Gothenburg)是あり。人口三萬以上のもの三あり。マルモー(Malmö)、ノルカーピング(Norrköping)、ゲフル(Gefle)是あり。ストックホルムは即ち首府にして、メーラル(Mælar)湖口に立ち、九嶋に跨り、其風光絕佳なるを以て、北方ベニスの稱あり。

(那威の都府) 那威に於ては人口十萬以上の都府、僅に一あるのみ。首府クリスチアニヤ(Christiania)是なり。ベルゲン(Bergen)之に次ぐ。其他二萬以上の都府三あり。トロンジエム(Trondjem)、スタバンガー(Stavanger)、ドラムメン(Drammen)是なり。ハンメルフェスト(Hammerfest)は歐洲最北の都府なり。

(政体) 瑞典、那威は、各獨立にして、各其議會を有せり。但し一王の下に立つ。

一二國各、別に陸海軍を有す。王と雖も唯此國より彼國に三千人の軍卒を送るを得るのみ。

二、王はストックホルムに住すれども、憲法に由り、毎年那威に幸して政務を行ふことゝなれり。

(宗教及び教育) 両國共にルーテル新教なり、又瑞典い卓越なる公立學校を有し、就學兒童の數百分の九十四に及ぶ、那威い此の如くならず、然れども、人民大抵讀み書きすることを得べし、瑞典に二大學あり、那威に一大學あり。

ブリテンシュ諸島

(ブリテンシュ諸島) ブリテンシュ諸嶋は歐洲大陸の西北に在りて、五百餘の嶋嶼より成る、其二大嶋を大貌利顛(Great Britain)及び愛爾蘭(Ireland)と爲す、諸嶋の全面積を日本に比較するときは大凡四万方哩許小なりとす。

一、大貌利顛は歐洲最大の嶋なり。長さ六百哩にして、其面積殆ど九万方哩あり。三國を有す。英蘭(England)威勒士(Wales)及び蘇格蘭(Scotland)是なり

二、愛爾蘭の面積は、三万二千五百方哩にして、大貌利顛の三分一より多し。此二嶋を分つ嶋のものをアイリッシュ海(Irish Sea)といふ。

第一、英蘭及び威勒士

(英蘭及び威勒士) 此二者相合して大貌利顛嶋の最大部分を組織す、大さ殆と全嶋の三分二なり。

(境界) 英蘭は北は蘇格蘭に接し東は日耳曼洋南は英吉利海峽西はアイリッシュ海、威勒士及び太西洋に臨めり。

威勒士は三面海に臨み、東部のみ英蘭に接す。

(廣袤) 英蘭の面積は五万八千二百三方哩にして、威勒士は七千三百六十三方哩あり、合して五万八千百八十六方哩ありとす、其最も長き所四百三十哩、最も廣き所三百七十哩あり。

(形狀) 英蘭は其形殆ど三角形をなし、海岸線は非常に長く、凸凹甚しくして良港頗る多し、其凸凹の甚しき、內地の何れよりするも、海岸に至るに五十哩を出づるこ

となし、海岸線の長さ千八百哩あり。

（嶋嶼及び海峽）　英蘭の大嶋嶼は皆西及び南海岸の近傍に在り、西に在るものをマン嶋(Isle of Man)、アングレシヤ島(Anglesea)等とあし、南に在るをウアイト嶋(Isle of Wight)と爲す。海峽の最も著名あるをドーバー(Dover)といふ、東方にあり。

（地勢）　高地は概ね西方に在りて低原は東方に在り、英蘭の脊骨とも謂ふべきペンナイン山脈(Pennine Range)は北方に起りて南方デルビーシャイヤ(Derbyshire)に走り、延長殆ど二百哩、平均千呎乃至二千呎の高さあり、其の最高峰をクロッスフェル(Crossfell)といふ、二千八百九十呎に達す。ペンナイン山脈の東及び南は英蘭の大平原にして只時に低山脈の横斷するあるのみ。山西の地は概ね高地にして狹隘なる平原を交へ、威勒士諸山に至る。威勒士諸山中の最も著名なるをスノードン(Snowdon Range)となす、高さ三千五百七十呎に達す。英蘭は概して低平の國と稱すべく、其面積の三分の二は平原にして東部、中央及び西部の三大平原あり、高原は其一部に過ぎず。

（河流及び湖水）　英蘭の高山は國の西方に在り、而して一國の分水界は常に必しも高處と相一致せざるも、猶英蘭の分水界は西方に傾けり、故に河流の大なるものは皆東方にあり、有名なるテームス河(Thames)の如き亦東方に在り、東部の諸川は皆緩流にして河口甚だ廣く、障害物一も無く、其に商業に適せり。

（鑛物）　英蘭の鑛物の重要なるものを石炭及び鐵とす、其他銅、鉛、亞鉛、錫、食鹽、大理石、建築石及び磐石亦頗る多し。

一、英蘭は極めて炭田に富めり。千八百八十七年英蘭及び威勒士に於て採掘したる石炭は殆ど一億四千万噸にして、此價格總計殆ど三千四百万磅ありとす。英蘭は世界中最大の鑛業國なりと謂ふべし。

二、鐵は概れ炭田の在る處にあり、出産高は石炭の十分一に及ばず。

（氣候）　英蘭は温帶の北部に在れども、灣流の其沿岸を洗ふにより、氣候概して温和濕潤にして常に降雨多く、時として毎日雨を降すに至る。温度は夏時に於ては緯度に從て減少すれども、冬時に於ては北方の諸地方亦龍動(London)と温度を等うす。

（植物）　英蘭は凋落樹帶に屬し、蘇格蘭は松樹帶に屬す、英蘭の各地方最も多きも

のを樺山毛樺及び楡と爲す。亦桑皮樺木・栗・榛樹・白楊・柳・楓樹等あり。山楂子は此温和の氣候に繁茂し、此地の普通ある景色を爲す。概して其植物は大陸に於て同緯度のものと同じ。唯英蘭は葡萄帶に跨る。

（動物）森林を伐除し耕作地を擴張したる爲に、野獸は大に其跡を絶つに至れり。今日英蘭に在る野獸は皆大あらず、其能く知られたるものを狸・水獺・家兎・栗鼠・豪猪及び鼬鼠とす。海豹は間々北方海岸に之を見る。英蘭の家畜動物は最良にして最も强壯なりとす。

（住民及び人口）英蘭の人民は「アーヤン」派の「チュートニック」種に屬し、威勒士及びコルンウォールの人民は「セルチック」種に屬す。人口合して三千万あり此内約二百万を威勒士の人口とす。平均一方哩五百人の割合にしてサキソニーと白耳義とを除けば、歐洲中人口最も稠密なる國なり。

（産業及び製造）英蘭は數多の石炭を産し、廉價に蒸汽力を生するがために、古來農業生活の狀態を一變して商業製造に向はしめ、英國をして世界の市場たらしめ、又其船舶をして各國間の大運送者たらしむるに至れり。英國の二大製造を織物及び鐵器とす。之に次ぐものゝ木綿羊毛及び鐵にして、木綿は英蘭製造品中最も重要なるものとす。

一、連合王國にて製造する織物の總價格、一年殆ど二億磅にして、鐵器は殆ど一億三千万磅なり。一人に付殆ど十磅に當る。

二、南「ランカシヤイヤ」は木綿製造の重なる處にして、「マンチエスター」は木綿の首府「リバプール」は木綿の海港と謂ふべし。

（商業）大貌利顛は製造業に於て諸國中第一位を占むるのみならず、商業に於ても亦然り。輸出入の總額一年殆ど六億磅とす。輸入の重要あるものを穀類・生綿・羊毛・砂糖・金屬及び材木の六種となし、輸出の重要なるものを木綿製造品・毛布・鐵器・機械・石炭及び麻布の六種とす。

（鐵道郵便及び電信）英蘭及び威勒士に於ては鐵道の延長一万四千哩運河の便三千哩あり、電信線は二万哩餘に及び、郵便局にて取扱ふ書簡の數一年十五億にして一人平均五十二通なり。

（大都府）英蘭には大都府多く人口十万以上を有する都府二十五あり。中十一は

二十万以上を有し、又其四は四十万以上を有す。最も大なるものを首都龍勒となすテームス河邊にあり。地球上最大の都府にして商業繁盛を極め、人口五百万以上に達す。

第二、蘇格蘭

(境界) 西北は太西洋に臨み、東は北海に滾し、南は英蘭及びアイリッシュ海に接し、西南愛爾蘭と相對し、東方丁抹及び那威に向ふ。

(廣袤) 本土の最も長き所は二百八十哩、最も廣き所は百七十五哩に達し、其面積は諸嶋嶼を合して二万九千八百二十方哩なり。

(形狀) 海岸線は廣袤に比して甚だ長く、總計二千五百哩に達し、平均十二方哩ゑ付海岸線一哩の割合なり。されば國中何れの處よりするも、海岸に至るまで四十哩を超ゆることなし。

(嶋嶼及び海峽) 貌利頭北部の海岸に於ける嶋嶼は南部より頗る多く、而して概ね西及び北に横はれり。西方の群嶋は太西洋の激浪を防き、二重の堅牢なる堤防

をなせり。海峽の最も有名なるは西南愛爾蘭との間に在り、北海峽(North Channel)と名く。

(地勢) 蘇格蘭は北に山岳あり、南に高原あり、其間に僅少の平原あり、英蘭と同じく最高山脈は國の西方に横はる。唯其方向は西より東に走り、ベンナイン山脈と直角を爲す。全山脈は深長狹隘なるグレンモーア(Glenmore)なる陷落を以て二分せらる。北部系及び中央系是なり。北部系の最高峰をマームスイル(Maam-Suil)(三千八百六十二呎)となし、中央系の最高峰をベンネビス(Ben-Nevis)(四千四百〇六呎)となす。

(河湖) 蘇格蘭の分水界は西海岸に近きを以て、河流の長大なるもの多くは東方にあり。湖水は概ね谿谷に在りて風光甚だ美なり。最大なるをロックロモンド(Loch Lomond)となす。廣さ四十五方哩に達す。

(氣候) 英蘭に比すれば寒冷にして濕氣を含み、冬長くして夏涼し。西海岸及び山岳地方は、東海岸及び平原より雨量多しとす。

(植物) 蘇格蘭は松樹及び灌木の地方なり。唯平原に於ては橿、山毛欅及び楡等繁茂せり。燕麥、大麥は蘇國固有の產なり。

(礦物)　蘇格蘭は甚だ石炭及び鐵に富み、又砂石、花崗石及び鉛等の產盛なり。

(人口)　人口四百餘万あり、一方哩百四十人の割合に當る。人民の大半は平原地方にありて、殊に石炭を產する地方に多し。

(產業)　礦業、製造業及び商業は、方今此國の重要なる產業あり。其古に在りては此國の產業は唯農業のみなりしなり。

(製造)　重なる製造品を木綿、羊毛、麻、絹の織物とす。各種の機械、鐵器も亦製造せらる。造船及び製紙業甚だ盛なり。

(商業及び首府)　商業甚だ盛にして、世界各港此國の船舶を知らざるものなし。重要なる港をグラスゴー(Glasgow)、アバーヂーン(Aberdeen)、リース(Leith)等となす。首府は即ちエヂンバラ(Edinburgh)にして人口三十万あり。

(交通)　蘇格蘭には良道四千哩あり。鐵路は三千哩以上運河は二百哩餘に達す。

第三、愛爾蘭

(境界及び面積)　南北、西の三面は太西洋に臨み、東は北海峽、アイリッシュ海及びセントジョージ海峽(St. George's Channel)に接す。全面積三万二千五百三十五方哩にして、幅の最も廣き所百七十四哩あり。

(形狀)　其形殆ど平行方形に類し、海岸線は殆と二千哩の長さあり。良港佳灣甚だ多く、殊に西南海岸に多しとす。

(嶋嶼)　愛爾蘭の嶋嶼は皆小にして本土に接近せり。元來本土の一部ありしが、柔軟なる岩石の、波浪のために截斷せられてかく嶋嶼となりしなり。其多くは西海岸に在り。

(地勢)　愛爾蘭は石灰石の平原にしてスライブブルーム丘(Slive Bloom Hills)と名くる一の低山脈ありて之を横斷し、周圍には高地山岳聳てり。中央平原は國の大部を占め、波濤の如く起伏し、海面より高きこと平均二百呎にして、三百呎に達する處なし。故に此國には一の脊骨と謂ふべきものなく、隨て一の地理上の中心なしとす。

(河湖)　愛爾蘭の河川は、中央平原の周圍にある高地に起るが故に、其流皆小にして、商業上必要なるものなし。唯シャンノン(Shannon)のみ大平原の中央を貫流して

太西洋に注き、國中第一の大河にして二百廿四哩の長さあり。内二百十三哩は舟航するを得べし。山地低地ともに湖水多く、其最も大なるものをニー湖(Neagh)とす。

(礦物) 愛爾蘭は鐵に富めども石炭に乏しく、只僅に四箇の炭田あるのみ。其他少量の銅、鉛、亞鉛、銀を産し、又美麗なる大理石を出す。

(氣候) 仝緯度を以て比するときは、此國は英蘭より温暖濕潤にして又温度均一なりとす。氣候は海洋的にして雨の多きこと歐洲第一たり。故に冬夏ともに新緑繁茂し、碧玉嶋の名あるに至る。

(植物) 愛爾蘭の氣候は穀類の生長を妨げ、唯雜草のみ能く繁茂せり。

(人民) 概ね、セルチック、人種に屬し、チユートン、人種を混ふ。その性質甚だ賞すべきものあり。博愛にして患難相救ひ、常に人を欵待するが如き其特色なりとす。

(人口) 人口五百万あり、千八百四十七年以來著しく減少したるものにして、其原因は主に移住に在り。

(産業) 重なる産業を家畜飼養とす。牛馬、豚及び農産物は其主なる富とす。東及び北に在りては、麻布及び毛布の製造行はる。

(商業) 愛爾蘭の商業は主として各種農産物の輸出及び石炭、鐵器、衣服其他英蘭製造品の輸入なりとす。

(交通) 此國には河、湖、運河等の大なる水路あり。鐵道は延長殆ど二千七百哩あり。運河の大なるものをローヤル運河(Royal Canal)及び大運河(Grand Canal)とす。

(大都府) 一國の大都府は概して頻繁なる商業と盛大なる製造業と、互に相密着するによりて生ずるものなり。然るに愛爾蘭には此結合殆どなしと謂ふも可なり。故に五万以上の住民を有する大都府は僅かに三に過ぎず。其最大なるをダブリン(Dublin)と云ふ。此國の首府にして中央平原の一隅にあり。英蘭に面するを以て、内國及び外國貿易の中心たり。

2

第三篇　亞弗利加

總論

(緒說)　亞弗利加は、暗黑大陸と稱す、其理由二あり、其國の世に知らるゝこと、最も少く、且容易に內地間相交通するを得ざること、其一あり、黑人種の之に棲住すること、其二あり、古來此大陸を探撿せんと企てたるもの一にして足らずと雖も、サハラ(Sahara)の大砂漠或は赤道の兩側に橫はれる大森林は、終に旅人をして空しく手を束ねしめたり、

抑も亞弗利加は、他大陸と相異れる數點あり、即ち熱帶の大陸なること、平均最も高きこと、最も世に知られざること、然かも尙歷史上に於ては、最古の記錄を有すること、其形狀頗る簡單なること、及び其大陸は其形狀、構造、氣候及び人民等各種の點に於て舊世界の諸大陸と著しき反對を爲すこと等是なり、

(南北大陸の反對點)　今地球上の六大陸を南北に分つときは、兩者間著しき差異あるを認むべし、即ち北三大陸は、互に相接するも、之に反して南の三大陸は頗

る廣き大洋を中に挾んで遠く相隔離せり。北の三大陸は海岸線頗る長く、港灣深く陸地に侵入し、陸條長く、海中に突出し群嶋頗る夥多なるも、南の三大陸は其海岸線一樣短少にして、大洋の陸地に侵入すること無く、嶋嶼も至て少しとす。

(亞弗利加及び歐羅巴の比較)、亞弗利加及び歐羅巴、二大陸の相反對せる諸點を列擧せば、左の如し

亞弗利加

一、亞弗利加の大部は、熱帶に在り。

二、其大陸は、形狀簡單にして、一大圓塊を爲す。

三、亞弗利加は枝無き幹の如し。

四、亞弗利加は、比較上海岸線最も短し。

五、嶋嶼頗る少し。

六、河流頗る多きも、皆舟航に適せず。

七、二大砂漠あり。

歐羅巴

一、歐洲の過半は溫帶に在り。

二、其大陸の形狀は、不規則にして、凸凹出入多し。

三、歐洲は、其四部に於て、幹より寥る枝多し。

四、歐洲は比較上海岸線最も長し。

五、嶋嶼頗る多し。

六、河流頗る多く、皆舟航すべし。

七、砂漠無し。

八、二大內地流域を有せり。

九、其山脈は海岸に沿うて走る。

十、其氣候は最も熱し。

(亞弗利加及び南亞米利加の比較)

占め、反對類似の點數多あり。

亞弗利加

一、亞弗利加は凸凹無し。

二、亞弗利加は、收縮の形あり。

三、亞弗利加は、互に相交通するを得ざる一大陸地なり

四、湖沼頗る多く、皆頗る大なり。

五、亞弗利加は、舟航すべからざる河流、閉塞せる流域を有す。

六、コンゴ河は、赤道の南北兩邊を沿うて流る。

八、大陸的流域無し。

九、其山脈は大陸の中心を貫いて走る。

十、其氣候は頗る溫和なり。

両大陸共に赤道に沿うて、其地位を

南亞米利加

一、南米の海岸は、亞弗利加に比して出入多し。

二、南米は、膨脹の形あり。

三、南米は、至る處河流縱橫し、港灣の欠を補へり。

四、湖沼少く、皆小なり。

五、南米は河流舟航するを得べく、其流域は極れ相連續せり。

六、アマゾン河は、赤道に沿うて流る。

七、コンゴ、ナイル及びザンベシ河は、各相離れて其水を大洋に送る。

八、亞弗利加は、赤道の南北両側に、廣大なる森林を有す。

九、亞弗利加は、最大最强なる動物を產す。

七、數多の河流合して一のアマゾンとなり、多量の水を大洋に送る。

八、南米は、赤道の南北に沿うて、廣大なる森林を有す。

九、南米に在りては、植物の方、動物より壯偉なり。

(廣袤及び海岸線) 亞弗利加は、總面積一千二百萬方哩あり、其海岸線は、面積に比して頗る短く、僅に一萬六千哩に過きず、灣の主要なるものには、ギニア(Guinea)灣あり、ベニン(Benin)及びビャフラ(Biafra)の二小灣其中に在り、北方海岸に於て、シドラ(Sidra)及びカベス(Cabes)の両灣あり、東方に於てアデン(Aden)灣あり。

(組織) 其外形既に一樣にして、內地も亦然り、此大陸には脊骨と稱すべきものあるく、中央にも大山脈なく、大分水界なし、然れども高地頗る多し、亞弗利加は、實に高原大陸と稱すべし、其過半は皆二千呎乃至九千呎の高原より成り、大山脈之を圍繞し、海岸に沿うて走る、高原の中央部は、其周邊より稍低し、海岸に沿へる處は低平なれども、頗る狹小なりとす、全土を分ちて、上下の二部と爲すべし、南に在るものを上部亞弗利加、北に在るものを下部亞弗利加とし、北緯五度を以て之が限界とす。

(山脈) 山脈の主要なるものには、北に於てアトラス(Atlas)山あり、西に於てコング(Kong)山あり、ビャフラ灣に近きカメルーン(Cameroons)連山、コンゴ(Congo)河及びナイル(Nile)流域間ウレガ(Ulegga)山脈、コンゴ、ザンベシ(Zambesi)流域間のロキンガ(Lokinga)山、東南に於けるドラケンベルグ(Drakenberg)山、及びアビシニヤ諸山あり、大陸中最高の峯をキリマンジャロ(Kilimanjaro)一萬八千八百八十一呎及びケニア(Kenia)一萬八千呎と爲す。

(平原及び砂漠) シドラ灣及びカイロ(Cairo)の間低き平原あり、此平原の過半は、地中海の水面より低し、カベス(Cabes)灣以內より、又地中海面よりも低き平地あり、されど亞弗利加の重なる原野は、皆高地なり、サハラ及びカラハリ(Kalahari)の砂漠頗る著名なりとす。

サハラは世界第一の砂漠にして、南北千哩、東西三千哩、面積二百五十萬方哩、地中海の大さに三倍せり、昔日皆て水を以て蔽ひたりしが、今は水なき大洋なり。

サハラは砂石の高原にして、其地蘇丹より高く、間々粘土質の低窪及び山脈あり、降雨全無と云ふに非ず、所々に潴水を見る、呼吸を止むるが如き熱風、砂漠を吹き渡る、之を「シムーム」(Simoom)と稱す、埃及にては「カムシン」(Khamsin)伊太利にては「シロッコ」(Sirocco)瑞西にては「フォーン」(Föhn)と稱す。

(大陸的流域)　亞弗利加には、南北に大陸的の二大流域あり、ザハラ及びカラハリ是なり、サハラよりは、チャッド(Chad)湖あり、數多の河流之に注ぐ、シャリ(Shari)は其最も著名なるものなり、カラハリの近傍ニガミ(Ngami)湖あり、チョージ(Tioge)河之に注ぐ。

(河流)　亞弗利加に於る四大河をコンゴ、ナイル、ニジエル(Niger)及びザンベシと爲す、コンゴは最も大にして、大西洋に注ぐ、ナイルは地中海に注ぎ、亞弗利加最長の河なり、ニジエルはギニア灣に注ぐ、流域水量第三に位す、ザンベシは印度洋に注ぐ、流域第四に位す。

(湖沼)　北米を除きて、亞弗利加の如く大湖多き大陸、世界になし、皆重に南亞弗利加にありて、大抵大陸の東側に羅列せり、ビクトリアニアンザ(Victoria Nyanza)、アルベルトニアンザ(Albert Nyanza)、タンガニーカ(Tanganyika)、ニヤッサ(Nyassa)及びベンバ(Bemba)の五湖最大なるものなり。

(氣候)　亞弗利加は、其土地の十分七、熱帶中に横はるを以て、乾燥酷熱なり、此氣候を成せるもの、三種の原因あり、(一)亞細亞海岸より來る東北貿易風の濕氣を有せざること、(二)灣の深く陸地に侵入せるものなく、半嶋の長く海中に突出するものなきこと、(三)海岸に沿うて走れる山脈は、雨を帶べる風より、濕氣を奪ふを以て、內地に至るに及んで、乾燥なる風となること是なり、故に亞弗利加の氣候は大陸的性質のものなりとす、南方に至れば、土地高く又海洋の影響を蒙むると多きを以て、氣候幾分か涼味を帶ぶ、內地の高原は、氣候健康に適ずれども、其海岸は腐敗植物積重し、濕熱の氣甚しきを以て頗る健康に害ありとす、亞弗利加大陸中、最も暑熱强き所はサハラにして殊に其東部を然りとす。

(植物)　北方亞弗利加の植物は、地中海の地方と同じ、此の如き半熱帶地方に在ては、橙橄欖椰子等頗る多しとす、南方に進んで蘇丹地方に至れば、土地豐饒にして、バヲバブ(Baobab)樹多し、其他「カッサバ」(Cassava)、大薯、地荳成長せり、南方亞弗利加に

至れば、内地平原に於て、大戟草或は蘆荟其他珍奇の植物あり。海角に近き處に在ては、頗る美麗なる灌木、林をなして相連り、皆高くして間々十五呎に至るものを見る。

(動物)　亞弗利加には巨大の動物あり。其種類及び其數最も多しとす。著しきものは、象、河馬、犀等にして、殊に河馬に至りては、亞弗利加特有のものあり。羚羊は南部亞弗利加に多く、豹、駝群を爲して森林を馳廻し、駝鳥平地を走る。肉瘤一箇の駱駝は北方に於て使用せらる。「ゴリラ」(猿猴の属)或はチンパンジー(猩々)の如き、四手獸の大なるものは、西部亞弗利加の熱帶地方に於て之を見る。其他獅子、蜣狗、豹、靈猫等多し、虎熊は絶無なり。駝鳥の外、亞弗利加には、鳩、「アイビス」(Ibis)、赤鶴等あり、其他羽毛美麗なる鳥類各處に多し。鰐魚は強大なるものあり、蛇は亞米利加亞細亞に比して、餘り多からず。

(礦物)　鹽は頗る多く、金屬は至る處皆少し。鐵、銅及び鉛はアトラス山中に産す。又銅はナマクアランド(Namaqualand)及びコンゴ流域に産し、南亞弗利加の中央連山中にも多くあれども、未だ採掘せらるゝに至らず。金剛石はバール(Vaal)河邊の地方に出づ。

(住民)　亞弗利加の住民を分ちて、土人、舊移住民、新移住民の三とす。土人は、(一)南部及び西南部に住する「ホッテントット」及び「ブシュメン」、(二)前者と赤道間に住する所の「バンチュ」と稱する人民、(三)蘇丹地方に住する黑人の三種とす。舊移住民は、(一)舊埃及人、(二)「セミチック」種なる亞拉比亞人及びアビシニヤ人の二種より成る。新移住民は、和蘭人、英人、佛人等なりとす。

(人口)　人口凡そ二億なり。西部蘇丹は、人口最も稠密なる區とす。一方哩に五十人の割合なり。チュニスの之に次ぐ。

(宗教)　亞弗利加の北部チャード湖に至るまで、及び東海岸ザンベシ河口に至るまで皆回教を奉ず。南部及び西南海岸の人民は皆無數の蕃教を信じ、ケープコロニー(Cape Colony)及び和蘭殖民地に於ては其人民悉く新教にして、アビシニヤに於ては基督教の一種行はる。

(言語)　亞拉比亞語はナイル河口よりジブラルター海峡に至り、ジブラルター海峡よりセネガル(Senegal)河口に至るまでの海岸地方に行はる。サハラ砂漠にては「バーバー」(Berber)語あり。南亞弗利加にては「バンチュ」(Bantu)語あり。其他「ブシュメン」人

の間に存するものを、ホッテントット語と云ふ。

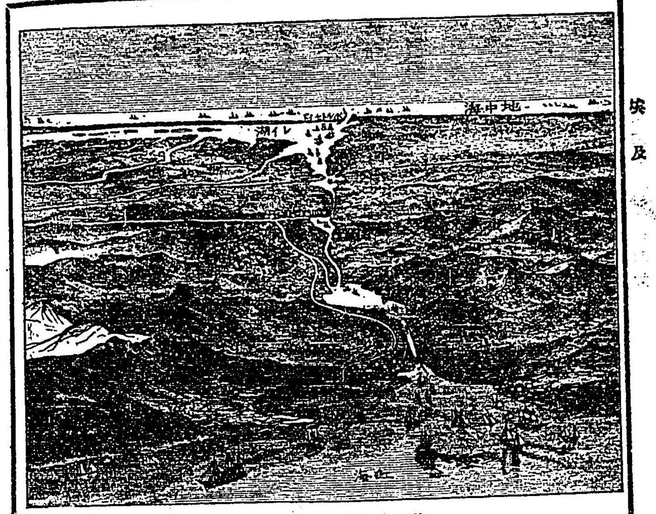
(殖民地) 亞弗利加は各國の爭うて、事業を企つる處にして、今歐洲八箇國は、各其一部を領せり、即ち英國は、南方ケープコロニー(Cape Colony)を領し、西方數多の殖民地を有し、東方數多の海岸地方を保護し、埃及は彼の掌中に在り、佛蘭西はアルゼリヤ(Algeria)を領し、セネガル(Senegal)、佛蘭西領コンゴ及び其他の小殖民地を有す、獨逸は東西兩岸に土地を領し、尙ほ愈々多きを望めり、葡萄牙はアンゴラ(Angola)及びベンゲラ(Benguela)の舊領地を保ち、又東海岸に數多の地を有す、西班牙はキユータ(Ceuta)に於て狹小なる領地を有するのみ、伊太利はマッソワ(Massowah)よりアッサブ(Assab)に至る紅海沿岸を領し、尙トリポリ(Tripoli)を得んと欲せり、土耳其は埃及を領し又フエザン(Fezzan)とトリポリとを有せり、然れども其權威今や漸々行はれず、白耳義國又亞弗利加に目を注げり、彼のコンゴ自由國の君は即ち白耳義王なりとす。

埃及 (EGYPT)

(埃及) 埃及はナイル河口及び其下流に沿へる國にして、南境をウエデーハルフア(Wady Halfa)と爲す、北境は即ち地中海にして、砂漠ハ國の兩側に横はれり、西に在るものをリビヤン(Libyan)砂漠となし、東に在るものをヌビアン(Nubian)砂漠と爲す、國を大別して、上部埃及、下部埃及の二とおす、前者は河谷にして、後者ハ低野なり、此低野ハ即ちナイルの三稜洲おりとす、國の面積殆ど四十萬方哩なりと稱すれども、實際人民の住居すべき處一万一千方哩に過ぎず、人口凡ろ七百萬なり。

(商業上の地位) 埃及の位置たる、世界の二大商業路、即ち、亞細亞亞弗利加間の陸路及太西洋、地中海、印度洋間の水路交叉する處にあり、加之千八百六十九年蘇士運河開通以來埃及は亞米利加、濠州間の中央に在りて、商業上大に好地位を占む、蓋し世界各國の大商業路ハ、方今蘇士運河に在ればあり。

(物産商業及交通) 三稜洲に於ても、猶降雨稀にして、殊に上部埃及に於てハ、數



蘇士運河

年間一雨を見ざることありと雖もナイル河ありて、土地を豊饒ならしめ灌漑の爲めに十分なる水を與ふるを以て、往古より農業ハ埃及人の重なる職業なりき。輸出品の主要あるものを棉花、砂糖及び蠶豆と爲す。英國は全輸出物の殆ど一半を買ひ之に對して木綿、石炭等を送る。埃及の鐵道單線延長千三百哩あり、然れどもナイル河及び六百哩の運河ハ、商業及び旅行の水路として、人民に利益を與ふること莫大ありとす。蘇士運河ハ世界商業の關係する處あれ

ば、諸大國皆運河の自由を保護せり。

一、鐵路及大路に沿うて、電線あり近年アレキサンドリヤより、赤道近傍まで、電線架設せられたりと聞く。

二、蘇士運河は佛國の大土木師レセップ(Lesseps)氏の計畫に成れるものにして、千八百五十九年に着手せられ、千八百六十九年に竣工したり。ポルトセイドより蘇士灣まで其長さ百哩あり。英の船舶此運河を通過するもの、毎年三千艘に及ぶ。此運河通行料の收入高一年に三百萬磅なりと云ふ。

(都府) 埃及にカイロー(Cairo)及アレキサンドリヤ(Alexandria)の二大都府あり、其他の小都府を擧ぐればダミータ(Damietta)、ザガジッグ(Zagazig)、ロセッタ(Rosetta)、ポルトセイド(Portsaid)及蘇士(Suez)等あり。

カイロー(人口三十七萬五千)は首府にしてナイル河の右岸に立つ。亞弗利加第一の大都會にして各種の人民此に住し、其市場に各國の物產輻輳せり。此府は、又亞拉比亞文學の中心なりとす。河の左岸にギセー(Gizeh)府ありカイローと相對し、最大なる金字塔三個此近傍に屹峙せり

ヌビヤ及東方蘇丹（NUBIA AND THE EASTERN SOUDAN）

（ヌビヤ）此地方ハウエデーハルファより、北緯十度に至り、上ナイル河邊の地方とリビアン砂漠及紅海間の地方とを含有す北緯十度より、アルベルトニアンザ湖に至る地方は、總稱して埃及蘇丹といふ。然れども、マーヂー（僞聖）の反亂より埃及は終に此地方の支配權を失ふに至れり。

（物産商業及交通）麥・木綿・煙草及數種の護謨等、ヌビヤ（Nubia）及び東方蘇丹に產す、然れども最も價格あるものは、象牙となす、隊商は此象牙及び其他の諸物品を運搬して、カイロー或は紅海濱のスアキム（Suakim）等に行く。

（都府）重要なる都府をカーツーム（Khartoum）、センナー（Sennar）、スアキム、マッソア、バーバー（Berber）、ヒルオベード（El Obeid）等とす。

アビシニヤ (ABYSSINIA)

(アビシニヤ) アビシニヤはヌビヤの東南に隣り、山岳最も多き國にして、往々亞弗利加の瑞西と稱せらる。其國は頗る高き原野にして、平均七千呎の高さを有し處々嶋嶼の如く分割せられ、谿谷低窪之が分界となり、其深さ四千呎に達せり。此高地の中に數多の山脈或は孤山あり、皆赭山にして、恰も塔或は柱の如き觀を爲す國の西方に長き斜面あり、東方の斜面は短く、急下せり。人口殆ど三百萬、方今重なる種族は、ガラ人(Galla)にして、アビシニヤの南方より來れるものなり。

(物産及商業) アビシニヤは頗る豐饒なる國にして、處によりては一年三度の収穫ありと云ふ。木棉、砂糖及び珈琲い、其主要なる産物なり、外國貿易なし。

(都府) 都府の數少し。有名なるものをゴンダア(Gondar)、サマラ(Samara)及ひマグダラ(Magdala)とす。

バルバリー諸國 (THE BARBARY STATES)

(緒說) バルバリー諸國とは、亞弗利加の北方、地中海に濱する四國の總稱にして、モロッコ、アルゼリヤ、チユニス、トリポリ是なり、モロッコの主要なる地勢を作るものは、大アトラス山脈にして、小アトラス山は、モロッコを貫き、更にチユニス、アルゼリヤを走る、河流概ね小なり、氣候い、高原及び北方斜面に於ては温和なれども、南方に於ては炎熱頗る甚だしとす。

一、モロッコ (MOROCCO)

(モロッコ) モロッコは、地中海濱諸國の最西に在るものにして、專制君主の配下に立つ、其面積二十二萬方哩あり、人口詳ならざれども大約五百萬なりと云ふ、國内之を三地方に分つを得べし、(一)テル(Tell)地方、即ち海岸より高地に至るまでの豊饒なる土地、(二)山嶽地方、(三)サハラの砂漠地方、即ち獅子、豹の居る處是なり、其豊饒なる海岸地方い、主として「ムーア人(Moors)之に住し、山岳地方は「バーバー」人之に住す、此人民は實際多くは獨立なりとす。

(物産及商業) テル地方の面積い、凡そ八萬方哩許り、各種の植産物あり、玉蜀黍、菜巴旦杏、橄欖、蠶豆、豌豆等多しとす、牛、玉蜀黍及び蠶豆は、此國の三大輸出物にして英國は玉蜀黍及び蠶豆の最大なる需要者なり。

(都府) モロッコ、フエズ(Fez)及びメキネズ(Mequinez)の三都府、モガドル(Mogador)及びタンジール(Tangier)の二海港あり、モロッコは首府として、人口五萬あり。

二、アルゼリヤ (ALGERIA)

(アルゼリヤ) アルゼリヤは、佛の領地中最も大なるものにして、又最も重要なるものなり、西の方モロッコに界し、東の方チユニス、トリポリに接し、南は其境界明

白に劃せられざるなり、此國はモロッコと同じく、之を三部に分つべし、(一)豐饒なるテル地方(二)アトラス高原地方(三)サハラ地方是なり。アトラスの南麓に沼澤多き平原あり、此平原は地中海面より低しとす。國の面積殆ど十八萬四千方哩あり、人口は四百萬に足らず、其中佛人は廿五萬あり。

(物産商業及交通) テル地方の地味頗る豐饒にして、能く濕ひ、各種の植物繁茂せり。小麥、橄欖、煙草、木綿、稻は其主要なるものとす、其國四千五百萬エークル、以上は耕作地にして、其十六分の十五は、歐洲人の所有に屬せり、國の商業殆ど三分二は佛國と行ふものにして、西班牙及び英國之に次ぐ、鐵道の長さ殆ど二千哩あり。

(都府) 人口二萬以上の都府四あり、アルジールス(Algiers)、オラン(Oran)、コンスタンチン(Constantine)及びボーン(Bone)是なり、アルジールス(七萬五千)は即ち首府なり。

三、チユニス (TUNIS)

(チユニス) チユニスは佛國の保護の下に立つものあり、人口殆ど二百萬あり、國名は其首府の名より來る、輸出の重なるものを橄欖油、小麥と爲す、此國には鐵道の長さ殆ど三百哩あり、首府をチユニスと爲す、人口十四萬五千あり。

四、トリポリ (TRIPOLI)

(トリポリ附フェザン) 此國は土耳其に屬す、人口殆ど百萬あり、輸出の重なるものを駝鳥羽毛、及小麥と爲す、フェザン(Fezzan)は寂寞荒凉なる砂漠にして、處々泉地あり、トリポリの首府をトリポリと爲す。

蘇丹 (SOUDAN)

（蘇丹）　サハラの南に横はり、太西洋岸よりアビシニヤに至る處を蘇丹と稱す、其人民一部は黑人にして、一部いフォーラ（Foulah）或いフェラタ（Fellatah）と稱する混合種族なり、此フォーラ人い、熱帶地方人種中の最も慓悍なるものあり、ムーア人の子孫にして、回教を奉ず、黑人は基教徒にして、種々の物體を禮拜するものなり、各洲に專制君主あり、人民は農業牧畜に從事せり、蘇丹を別て上部下部の二とす。

東部亞弗利加

（東海岸）　東海岸は、西海岸に同じく低原長く連り、背後に高原聳え、河流之を貫いて海に入る、皆小なり。其氣候、平原に於ては、酷熱にして、健康に害あり、高原に在りては、頗る温和なり。ガーダフィ（Guardafui）岬よりデルガド（Delgado）岬に至る間、獨逸人の威力行はれ、デルガド岬よりデラゴア（Delagoa）灣に至る間、葡萄牙人の威力行はる。地方の貿易品は、砂金、象牙、駝鳥の羽毛等なり、左に主要の區劃を掲ぐ。

一、獨逸保護國　アウナン（Aijan）海岸

二、ザンジバー（Zanzibar）幅僅かに十哩なる長海岸にして、獨逸人の勢此地に盛なり。首府をザンジバー（Zanzibar）と爲す、全名の嶋に在り。輸出物の主要なるもの、象牙及び樹膠と爲す。

三、葡萄牙領　デルガド岬よりデラゴア灣に至る海岸、長さ千哩餘、幅平均八十哩あり。此地方は、九州に分つ。其最も有名なるものをソファラ（Sofala）及びモザンビーク（Mozambique）と爲す、貿易品は主として象牙、護謨及び獸皮類なりとす。

西部亞弗利加

（西部亞弗利加）　サハラの南端より、南緯十八度フリオ（Cape Frio）岬の間に在る地方を西部亞弗利加と曰ひ其中にセネガムビヤ（Senegambia）、上下の両ギニア（Guinea）を含む、海岸は低原長く連り、內地は高土ありとす。英、佛、葡、獨、白諸國皆此海岸に於て、貿易場を設け、尙進んで其驥足を內地に展べんとせり、此海岸に於ける貿易は、主と

して象牙、純金駝鳥の羽毛、椰子油及び護謨とす。左に掲ぐるものは、各國主要の貿易場なりとす。

一、佛蘭西　セントルイス(St. Louis)及びゴリー(Goree)
二、英領ガンビヤ　バサースト(Bathurst)及びジョージタウン(George Town)
三、英國　シーラレオン(Sierra Leone)
四、米國　リベリヤ(Liberia)
五、英國　ゴールド海岸(Gold Coast)
六、獨逸　カメルーン海岸(Cameroon Coast)
七、西班牙　フエルナンドポー島(Fernando Po)
八、佛蘭西　ガブーン(Gaboon)及びオゴウエイ(Ogowai)兩河邊の保護國
九、萬國亞弗利加會　コンゴ自由國(Congo Free State)此は萬國亞弗利加會の上に立ち、白耳義王之が主なり。其國は殆ど、コンゴの大流域全部を包含す。コンゴ河はスタンレー(Stanley)瀑及びスタンレープール(Stanley Pool)の間凡そ千哩舟航するを得べし。現今貿易樹合して廿七あり。其國頗る富饒、人口二千七百萬あり、道路修築の運に向ひ、鐵道の開通も近きに在らんとす。コンゴ河及び國内の道路は、各國自由に貿易の爲に用ふることを得べし。

現時輸出は主として椰子油、護謨、象牙、胡桃等にして、輸入は木棉、銃砲、火藥、酒精及び煙草等なり。

十、葡萄牙　コンゴ、アンゴラ、ロアンダ(Loanda)、マンゲエラ(Benguela)等
十一、獨逸　フリナ岬より、オレンヂ(Orange)河口に至る海岸(但し英領ケープフイルシュを除く)

南部亞弗利加

(南部亞弗利加)　此地方は南緯廿二度より三十五度の間に横はり、英人及び和蘭人之を有す。主要なる英國殖民地二あり、ケープコロニー及びナタル(Natal)是なり、獨立の和蘭共和國三あり、南亞弗利加共和國、オレンヂ自由國(Orange Free State)及び新共和國是なり。

ケープコロニー(CAPE COLONY)

(ケープコロニー)　此地は北方オレンジ(Orange)河に界し、東北ナタル(Natal)の殖民地に接し、其他は太西洋、南大洋、印度洋に臨む。面積凡そ二十三萬二千方哩、人口殆ど百廿五萬あり。

(地勢)　此國はオレンジ流域の南半部と、太西洋、南大洋、印度洋に注ぐ無數の河川流域の全部とより成る。故に斜面二を有し、北に向ふものは長く、南に向ふものは稍々短し、國中第一の高山を雪山と爲す、高さ八千五百呎あり、氣候は夏頗る熱く、乾燥あり、されども健康を害せず。

(海岸)　海岸は規則正しく、長さ千三百哩餘あり、西岸に低く砂地あり、南岸は概して險峻にして岩石より成る。岬角の主要なるものを喜望峰及びアガルハス(Agulhas)岬と爲す、アガルハス岬は、亞弗利加の最南點なり、江灣の主要あるものを西に在ては、セントヘレナ(St. Helena)、サルダンハ(Saldanha)及びテーブル(Table)諸灣と爲し、南

に在ては、フォールス(False)灣及びアルゴア(Algoa)灣とす。

(人民)　住民多くは、亞弗利加人種にして、「カファー」及び「ホッテントット」の二種とす。白人種に百分の三十に過ぎず。

(物産商業及交通)　內地の高原は牧畜に適し、牧羊は實に最も重要なる產業なりとす。金剛石を除けば、羊毛は此國の貿易品中最も價値ある物品にして、其價格は、殆ど他輸出物價格の合計と同じ、之に次で重要なる輸出物を、駝鳥の羽毛獸皮類、銅礦及び羊毛と爲す。人民居住地に在ては、道路頗る好きも、高地に至れば皆小條路に過ぎず。鐵道の延長、凡そ千八百哩あり、電線五千哩に達す。

(都府)　此殖民地には繁盛なる小都府數多あり、其人口二萬以上を有するもの三、ケープタウン(Cape Town)、キンバーレー(Kimberley)及びポートエリザベス(Port Elizabeth)是なり、其他重要のものを擧ぐれば、グラハムスタウン(Graham's Town)、イーストロンドン(East London)等あり。海港の重なるものはケープタウン、ポートエリザベス及びイーストロンドンあり。

(保護諸州)　方今英國保護の下に在る諸州にベチュアナランド(Bechuana Land)、ボ

ンドランド(Pondo Land)バストランド(Basuto Land)あり、ヅールーランド(Zulu Land)の一部亦然り。

(ナタル) ナタル殖民地ハ、南境にウムタムフナ(Umtamfuna)河あり、北ッゲラ(Tugela)河を以てヅールーランドと接し、ドラケンベルグ(Drakenberg)山西境に聳ヱ、印度洋東方に横はる。人口五十五萬、内四萬は白人種なり、地味は頗る豊饒あり、産業の重あるものを牧羊と爲す。氣候ケープコロニーより熱きを以て、砂糖亦多量に産し、其輸出大あり。羊毛獸皮、羽毛及象牙等は、南亞弗利加共和國及びオレンジ自由國等の内地諸州より輸入せらる。首府をピーターマリッツブルグ(Pietermaritzburg 一萬六千)と爲し、海港をダルバン(Durban 二萬五千)と爲す。

(オレンジ自由國) オレンジ國ハ、バール(Vaal)河、オレンジ河及びカレドン(Caledon)河の間に在る小國にして、人口十五萬、其中六萬餘ハ和蘭農夫なり。重なる産業を牧羊と爲す。羊毛は輸出品の重要なるものなり。駝鳥飼養も亦利益ある職業ありとす。輸出品は、羊毛、駝鳥の羽毛、金剛石及び獸皮にして、多くハポートエリザベスに向けて積送るものあり。又炭田に富み、金を産す。首府をブロームフオンテーン(Bloemfontein)と云ふ。電線によりてケープコロニー及びナタルと相連絡す。

(南亞弗利加共和國) 此國はリンポポ(Limpopo)河及びバール河の間に横はれる大國にして、其名は獨立國あれども、實際ハ英國女王の命令を奉せり。人口三十六萬、其中白人種六萬にして、白人種の中和蘭人四萬五千ありとす。地味氣候共に農業、牧畜に適せり。此國金を産すること頗る多く、又最良の石炭、多量の鐵を出す。方今國の東邊に鐵道開通せり。最も大なる都府をバーバートン(Barberton 人口七千)と爲す。政府の在る處をプレートリヤ(Praetoria 五千)と云ふ。電線の長さ五百哩ナタルに達せり。

(新共和國) 本國政府に不滿を抱ける和蘭農夫相集ひて、千八百八十四年ヅールー地方に、一の自由國を建設せり。此即ちこの共和國なり。首府をブリハイド(Vryheid)と曰ふ。

(ヅールーランド) 此國はッゲラ(Tugela)河とセントルシヤ(St. Lucia)灣の間に在り。其人民は勇悍なる武人にして、嘗てセチウエヨー(Cetywayo)の指揮の下に立ちて千八百七十九年ナタルを攻め、アイサンヅラ(Isandula)に於て英軍を破れり。次で

ロークスドリフト(Rorke's Drift)に於て大戰爭を爲し、ヅールー軍終に大敗し國は分裂して、各所に、ヅールー、の酋長を戴き、民皆農業、牧畜を勉むるに至れり。

亞弗利加の諸島嶼

(緒說) 亞弗利加海岸の周圍に横はれる嶋嶼は、皆大陸と地理上の關係甚だ少く、或は全く無きものあり、又此等諸嶋嶼は商業上の交通殆ど無しと謂ふも可なり、而して嶋嶼多くは、歐洲諸國に隷屬す、太西洋に在のものは、皆火山的性質のものなり。

一、西班牙領　カナリー(Canary)諸嶋、フエルナンドポー及びアンナボン(Annabon)

二、葡萄牙領　アゾーア(Azores)諸嶋、マデイラ(Madeira)、ケープベルド諸嶋、プリンス(Prince's)嶋及びセントトーマス(St. Thomas)

三、英領　アクセンシヨン(Ascension)、セントヘレナ、モーリシアス(Mauritius)、ロドリケス(Rodrigues)アミラント(Amirante)諸嶋及びソコトラ(Socotra)等

四、佛蘭西領　ボルボン(Bourbon)嶋及びマダガスカー(Madagascar)の海岸に於ける二三の地

方。

五、獨立　マダガスカー、コモロ(Comoros)諸嶋

(カナリー諸島) カナリー諸嶋は北緯十五度に在り、亞弗利加を去る遠からず、最大なるものをテネリフ(Tenerifie)嶋となし、グランドカナリー嶋之に次ぐ、尤も西に在るものをフエロ(Ferro)嶋と爲す。

(アゾーア諸島) アゾーア火山的諸嶋は、亞弗利加嶋嶼の極西に在るものにして、全嶋九あり、セントミケール(St. Micael)嶋及びフエヤール(Fayal)嶋尤も著はる。

(マデーラ) 氣候温和、土地豊饒なり、全嶋山岳より成る、低地に在ては椰子及び甘蔗を產し、高地に於ては、南方歐洲の果實及び常盤木を見る。首府をフンシャル(Funchal)と爲す、太西洋航海の汽船此に碇泊す。

(ケープベルド諸嶋) 此諸嶋はベルド岬の西に横はる、最も大にして、地味、最も肥沃なるものをサンチアゴ(Santiago)と爲す、セントビンセント(St. Vincent)は良港を有し、各國人の往來繁し。

(アッセンシヨン及びセントヘレナ) アッセンシヨンは、海中より突出せ

る火山岩の一塊として、高さ三千呎あり。セントヘレナは、アッセンションを去る東南八百哩にあり、首府をジエームスタウン(James Town)と爲す。

(モーリシアス)　モーリシアスは熱帶に在る嶋嶼にして、風景絶佳なるを以て著名なり、多量の砂糖を産す、首府はポルトルイ(Port Louis)なり。

(ボルボン)　ボルボン嶋に二大火山あり、首府をセントデニス(St. Denis)とす、主要なる輸出品は珈琲、砂糖及び香料なり。

(マダガスカー)　亞弗利加嶋嶼の最大なるものにして、長さ殆ど千哩あり、全嶋山岳重疊し五大山脈南北に走る、其最も高きもの九千呎に達せり、東側は印度洋に面し、東南貿易風を受くるを以て、降雨最も多く、隨て土地頗る肥沃なり、住民の中最も多智にして勢力を振へるものを「ホーバ」人種(Hovas)とす。全嶋の人口三百五十萬あり、其政體は專制王國なりとす。人民專ら牧畜農業を勉め、其森林は、良材に富む。輸出品の主要なるものを、家畜、護謨、獸皮、珈琲、砂糖等とす。首府をアンタナナリボ(Antananarivo)人口十萬といふ嶋の中央に在り、東海岸の要港をタマテーブ(Tamatave)といひ、現今佛蘭西に屬す。

第四篇　新世界

(亞米利加即ち新世界)　此大陸は、太平太西兩大洋の間に横はり、南北九千哩餘に亙れり、其幅は之に比して非常に狹し、新世界と舊世界との間には、著しき差異あり、因て先づ其差異を檢査すへし。

亞米利加

一、南北長し。
二、最長山脈は、北より南に亙る。
三、平原の大陸なり。
四、亞米利加の平原は、海に面し、海風を受く。
五、亞米利加には、大なる砂漠なし。
六、亞米利加は、南北兩半球に横はる。
七、亞米利加は四帶を具けり。
八、亞米利加は、前途有望なる土地なり。

歐亞

一、東西長し。
二、重なる山脈は、西より東に亙る。
三、高原の大陸なり。
四、歐亞の高原は、海の影響を受けず。
五、歐亞には地球上(亞弗利加を除き)最大なる砂漠あり。
六、歐亞は、北半球に限る。
七、歐亞は、大半北温帶に在り。
八、歐亞は、過去完全なる土地なり。

（廣袤）亞米利加の面積は千六百五十萬方哩にして、歐羅巴亞弗利加を合せしよりも大なり。而して北大陸は、大凡九百萬方哩、南大陸は殆ど七百萬方哩なり。

一、最も著しき幅は、次の如し。

（イ）北緯四十五度にては、三千一百哩。

（ロ）南緯五度にては、三千二百哩。

（ハ）パナマにては、二十八哩。

二、亞米利加は、其大さ歐羅巴の四倍、亞弗利加の一倍三分の一なり。然れども亞細亞より小なり。

北亞米利加總論

（緒說）北亞米利加とは、新世界の北部を稱し、パナマ(Panama)の地峽に由りて、南亞米利加に連續せり。今南北亞米利加の形質上相類似する點を擧ぐれば、左の如し。

北亞米利加

一、北亞米利加は、不規則なる三角形を爲せり。

二、其四岸に火山の高脈あり。

三、其東岸に平行して低山脈あり。

四、北極洋より墨西哥灣まで、大陸の中部は、大なる平原なり。

五、セントローレンス(St. Lawrence)西より東に流れ、ミシシッピー(Mississippi)は、北より南に流る。

南亞米利加

一、南亞米利加は、正三角形を爲せり。

二、北米に同し。

三、北米に同し。

四、カリビヤン海(Caribean Sea)よりラプラタ(Laplata)河まで、大陸の中部は、大なる平原あり。

五、アマゾン(Amazon)は、西より東に流れ、ラプラタは、北より南に流る。

（形狀及廣袤）北亞米利加は、三角形にして其面積八百六十萬方哩、亞細亞の面

積の二分の一より小なり。此大陸の最も長き所四千五百哩なりとす。

（組織）北亞米利加の組織は、至て簡單なり。西は高山脈連亙せる高地にして、東には海岸と平行せる低山脈あり、而して其間には大なる平原ありて、北極洋より墨西哥灣まで廣がる。

（海岸線）北亞米利加の海岸線は、二萬四千五百哩。港灣は東岸に多く、西海岸に少し。

一、右に依れば、面積三百五十万哩に付、海岸一哩なり。

二、歐羅巴の海岸線は、北亞米利加に二倍す。亞弗利加は北亞米利加の半に及ばず。

（港灣）東岸には大なる港灣あり、バッフヒン（Baffin）灣、ハドソン（Hudson）灣、セントローレンス（St. Lawrence）灣、ファンデー（Fundy）灣、墨西哥（Mexico）灣及びカリビヤン（Caribbean）海是なり。西岸にて重なるものは、カリフオルニヤ（California）灣にして、北岸にはブーシヤ（Boothia）灣あり。

（海峽）北米の海峽の重なるものは、ハドソン、ダビス（Davis）、バーロー（Barrow）及びベーリング（Behring）の諸海峽なり。

（半島及び岬）東岸にはラブラドル（Labrador）、ノバスコシヤ（Nova Scotia）、フロリダ（Florida）及びユカタン（Yucatan）の四大半嶋あり。西岸よはアラスカ（Alaska）及び下カリフォルニヤ（Lower California）の二半嶋あり。肝要なる岬は、東岸に在て、レース（Race）岬、（ニューフワンドランド）、セーブル（Sable）岬、（ノバスコチヤ）、コッド（Cod）岬、（マサチュウセッツ）、ハッテラス（Hatteras）岬（北カロリナ）及びセーブル（Sable）岬（フロリダ）是なり。

（地峽）地峽の最も有名なるものを、パナマの地峽とし、之に次ぐものを、テフアンテペック（Tehuantepec）の地峽とす。

パナマの地峽は、幅最も狹き所、殆ど三十哩なり。有名なる佛國の土木師レセップ氏此地峽を開鑿し、以て南米全體を回航するの迂を避けんと企てたれども不幸にして中止の運に會ひたるは惜むべき事と謂ふ可し。かの蘇士の地峽を開鑿し、亞弗利加大陸を回航するの煩を除き、印度洋航海期を短縮せし人は、實にこのレセップ氏なり。

（島嶼）北米の東岸に沿うて、數多の肝要なる嶋嶼あり、アンチコスチ（Anticosti）、プリンスエドワード（Prince Edward）、ニューフアウンドランド（New Foundland）、ベルムーダ（Bermudas）諸嶋及び西印度諸嶋（West Indies）是なり。大陸の北方には、廣大なる群嶋あり、其中最大なる嶋はグリインランド（Greenland）なり。又大陸の西方にて、最要の嶋はバン

クバー(Vancouver)あり。

(高地) 北米の大陸西部は、一の大なる高原あり、中央亞米利加を貫ける有名なる山脈は、ラファンラペックの地峽よりて二分し、各其名を異にして、殆ど北極洋まで走る、両山脈の間には廣大なる高地あり、全山脈中最高の處は、墨西哥の高原にして、海面の上殆ど九千呎あり。

(山嶽) 北米には二大山系あり、即ちアッパラチャン(Appalachian)山系及びコルヂレラ(Cordillera)山系是なり。アッパラチャン山系にて、最要の山脈は、アレガニー(Alleghany)にしてコルヂレラ山系にて重なる山脈はロッキー(Rocky)なり。

(平原) 北米の組織にて、最も著しき形狀は、中央の大平原にして、北極洋より墨西哥灣に擴がるロッキー連山とアッパラチャン山系との間に横はる。この平原の一半はハドソン灣及び北極洋に傾き、他半は墨西哥灣に傾けり。

(河流) 北米の四大河はミシシッピー河、マッケンジー(Mackenzie)河セントローレンス河及びサスカチエワン(Saskatchewan)河にして、共に中央の平原にあり、ミシシッピーは南流、マッケンジーは北流、セントローレンス及びサスカチエワンは東に流る。

太平洋に注ぐ二大河はユコン(Yucon)河及びコロムビヤ(Columbia)河なり。

(湖水) 北米は世界の最大湖水數多あるを以て是を湖沼大陸と稱するものあり、此等の湖は、三大河系即ちマッケンジー、サスカチエワン及びセントローレンスに屬せり、其數無慮數百にして、最も肝要なる湖はグレートベーア(Great Bear)、グレートスレーブ(Great Slave)、アサバスカ(Athabasca)、ウィンニペグ(Winnipeg)、スウペリオル(Superior)、ミシガン(Michigan)、ヒューロン(Huron)、エリー(Erie)及びオンタリオ(Ontario)是なり。後五者は、之を五大湖と稱し、セントローレンス河の一部を爲せり、五大湖の面積を合すれば、九萬方哩餘にして、即ち大貌利顛の面積より大なりとす、而して五大湖の中全く合衆國の中に入るものは獨りミシガンのみにして、他は皆合衆國と加奈陀との間に在り。

(氣候) 北米は北緯八十度より全十度に横はり、寒帶より熱帶に至るまで、各階級の氣候を有せり。

一、全緯度の上にて、北米の氣候は、歐洲より寒し。

二、北米の中過中の地方は、大陸的の氣候を有せり。即ち冬時は非常に寒く夏期は非常に熱

し。

三、溫度の變化は、極めて急激なり。

四、溫帶の中に於て、西岸は東岸より暖なり。

五、降雨は南に多くして、北に赴くに從ひ、減少し、又西に多くして東に赴くに從ひ減少す。

(植物) 北米の草木は、其數夥しく、其種類も亦多し。北極地方には、蘚苔及び矮樹あり、中央亞米利加の熱帶地方には椰樹及竹あり、溫帶地方にては、樹木の夥多なる、歐亞の森林地方に過ぐ。農產物にては北地は稞麥、大麥等多く、玉蜀黍は加奈陀の暖地方及び大陸の南部に生ず、甘蔗、煙草、木綿は合衆國の南部にて之を耕し、米穀は南方に生ず、其他半熱帶地方の果物、林檎、無花果及「レモン」は南方暖地に多し。

(動物) 北米の動物は其數多く、其種類亦夥し、但し北米に於ては、舊世界の如く禽鳥、羽蟲等に富めりと雖ども、哺乳獸は至つて少なし。水牛「カリブー」(歐の馴鹿に對するもの)、熊、海豹、海狸等は北方に在り、北米には唯一の有袋獸あり、之を袋鼠と名く、狼猴は熱帶地方にのみ住せり、禽鳥は頗る多くして、亞米利加特有のものは蜂雀なり、其他羽毛の麗なると音聲の美なるとを以て有名なるもの數多し、響尾蛇は最も

危險なる爬蟲なり。

(礦物) 礦物の豐富と多種とに關しては、何れの大陸も北米に及ぶものなし。世界最大の炭坑は、合衆國に在り、鐵は夥しく、金銀も亦之に劣らず。最良の銅はスウペリオル湖の北東岸より多く、鉛、水銀は北米の所々にあり。加奈陀幷に墨西哥にては錫を產出す。

合衆國に在る炭田の面積は十九萬方哩にして殆ど歐洲の全炭田の二十倍に當れり。アレガニー山の西側に在るアッパラチヤン炭田の面積は七萬方哩にして愛蘭の面積二倍以上に及ぶ。ミシシリー河邊の炭田は、合衆國中最大なるものにして、殆ど八萬五千方哩を蔽ふ。又加奈陀にも石炭許多あり。

(人民) 北米現在の住民は、殆ど八千萬にして、其內六千萬は白人種なり。其他は、黑人、亞米利加印甸人、及び混合種族なりとす。

(沿革) 北米は千四百九十二年クリストフアーコロムブス(Christopher Columbus)の發見に係る然れども、コロムブスは千四百九十八年大陸を見たりしのみ。西班牙人は、始めて其國を征服せんとの考を抱き、墨西哥及び二三の西印度諸嶋を奪へり、佛

人は千五百三十四年に來り、堡砦を建て、殖民地を作れり。次に英人來て、漸次佛人を逐ひ、千七百七十六年英國々王の管轄を脱し、獨立せりと公告したり。元來の殖民地は、其數十三にして、合衆國と稱せる聯邦を成せり。墨西哥は、千八百三十年西班牙の羈絆を脱したり。北米に於ては今や英語を用ふる人民と西班牙語を用ふる人民との住する處多きに居る

グリーンランド (GREEN LAND)

(グリーンランド) グリーンランドは、蓋し群嶋にして、氷雪を以て蔽はれ、之が爲めに互に相連結せらるゝものゝごとし。此地方にては、廣大なる氷田徐々に「フイオルド」に墮落し、海上ゝ突出し、破碎して氷塊となり、氷中ゝ漂流す。此國西岸に、二三の殖民地あるのみ。

(人民) 住民主として、「エスキモー」(Esquimaux)種族にして、丁抹政府の下に立つ海豹及鯨の捕獲を業とし、或は少量の大麥及び馬鈴薯を産出す。

グリーンランドの西方ナレス(Nares)海あり。千八百七十六年船長ナレスは、北緯八十三度廿分に達し、合衆國海軍副提督グリーレー(Greeley)ハ、千八百八十三年八十三度廿四分に達せり。これ古來北極に最も近く達したるものゝ一とす。

英領北亞米利加

（緒說）世人は一般に英領北亞米利加を以て、氷雪の荒地にして、唯僅少なる小麥の產地處々に散在し、北方の境界には、無數の大森林ありと思意すれども、これ頗る誤りたる想像に過ぎず、抑も加奈陀は各種の氣候を有し、又各地方の交通頗る完全よ達したる處にして、其富及び文明は非常の速力を以て進歩し、將來の繁榮實に測るべからざるものあるあり、英領北亞米利加は全大陸の三分一以上を占め、加奈陀(Canada)及びニューファウンドランドより成る、加奈陀は、オンタリオ、クエベック(Quebec)、ノバスコシヤ、ニューブランスウヰック(New Brunswick)、マニトバ(Manitoba)、英領コロンビヤ(British Columbia)プリンスエドワード嶋及び西北地方より成る。

（境界）英領北亞米利加の境界左の如し。

一、北　北氷洋　　二、東　太西洋

三、南　合衆國　　四、西　太平洋及びアラスカ(Alaska)

（廣袤）加奈陀の面積三百五十萬方哩餘あり、殆ど歐洲全土と同じ。

（組織）コルチレラ山脈とロッキー山脈との間に在る高地、ロッキー山脈の東斜面なる低き臺地、マッケンジー河の長き流域(湖沼處々に散在せり)、ハドソン灣の周圍あ

る廣漠の低地、ハドソン灣に注ぐ水流とセントローレンス河に注ぐ水流との分水界を爲せる高地、セントローレンスの流域の大半、以上數者は、實に加奈陀の大國を組織する要素なりとす。

（山嶽河流及び湖水）主要の山脈をロッキー山脈と爲す、其最も高き所は英領コロンビヤに在り、河流の重なるものには、セントローレンス、マッケンジー、フレーザー(Fraser)、紅河及びサスカチェワンあり、湖水の大なるものにはスウペリオル、ヒューロン、エリー、ヲンタリオ、ウイニペグ、マニトバ及グレートベーヤあり。

（氣候）加奈陀はアーカンゼル(Archangel)より佛國南部に至るまで、歐洲に於る各種の氣候を有す、唯異なる所は夏時之より炎熱にして、冬時之より寒冷なると、及び四季之より乾燥なることゝあり、

（產物）材木及び穀類を主要の產物と爲す、又頗る礦物に富む、然れども採掘せらるゝもの尙甚だ少し、其海岸にては大口魚及び鮭の漁業頗る大なり、西北地方に於ては、毛皮を得ること夥しく、皆之を英國に輸出す。

（產業）加奈陀の產業中、最も必要なる者を農業及林業とす、製造業の如きは尙幼

稱なるを免れず。然れども人口及富の增加するに從ひ、進步發達すると疑なしとす。

（商業）商業は漸次進步の勢なり。合衆國及英國は此國と大なる取引を行ふものにして、輸入の大半は、合衆國より來り、輸出の大半は、英國に送る。輸入品の主要なるものを、羊毛製鐵・製鋼・石炭・麵粉・木棉・茶・珈琲等と爲し、輸出品は材木最も多く、乾酪・小麥・家畜及び魚類之に次ぐ、

（人口）加奈陀の人口現今五百萬あり、平均一方哩僅に一人半に當る。人口の五分四はセントローレンス河邊に住す、住人多くは英人、蘇人の子孫にして、英語を用ふ、然れともクエベック州に於ては佛人の子孫甚だ多く、皆佛語を用ふ、

（交通）地球上、加奈陀の如く大に水利を有する國はあらざるなり。蓋し其河湖に由りて、セントローレンス河口より、大陸の中央を貫いて、直にマッケンジー河口に至るを得べし。加之加奈陀には、鐵道ありて、長さ一萬三千哩以上に及べり。其最も長きものは加奈陀太平洋線路にして、太平太西兩洋を連絡し、龍動及び日本其他東洋諸國との間九百二十五哩の距離を減少せしめたり。

（政體）此國の議會は、聯合首府なるオタワ(Ottawa)に開かる。各州又各其議會を有

す、國の總督は女王の代表者なりとす。

（大都府）加奈陀に於ては、農業專ら行はるゝを以て、人民全國に散在せり。故に此國には概して大都府無く、其人口五萬以上を有するもの、僅に四にして、其中十萬以上のものは、モントリール及びトロントの二に過ぎず、クエベック、ハミルトン及びハリファックス之に次ぎ、オタワ、セントジョン、ロンドン及びウィニペグ又之に次ぐ。

（ニューファウンドランド）此嶋の大さは、愛爾蘭より大なると其三分一にして、其海岸凸凹頗る甚し、此嶋は、亞米利加に於て最も歐洲に近く、レース(Cape Race)岬より愛爾蘭のクリーア(Cape Clear)岬に至る迄千六百五十哩に過ぎずとす。沃野頗る多く、良材を產し、又銅、石炭其他の礦物に富む、人民專ら漁業に從事す。主要の都府をセントジョンス(St. Johns 人口三萬五千)とす、東海岸に在り、此嶋は自ら一の殖民地にて、加奈陀の部に非ず。

合衆國

(緒說) 北米合衆國は、商業及び學術上の進歩最も著しき國にして、千七百七十六年其獨立を得たりし以來、其富(農業、鑛業及び製造業の富)の發達實に比類を見ず、人口の增加亦頗る大にして、百年前に在ては僅よ三百萬に過ぎざりしも、現今七千萬あり、現世紀の末よ至らば、當に一億となるべきあり。

(境界) 合衆國は太西太平兩洋の間に橫はり、加奈陀及び墨西哥の間に介在す、其境界左の如し。

一、北　加奈陀、大湖セント、ローレンスの一部　二、東　太西洋

三、南　墨西哥灣及び墨西哥　四、西　太平洋

(廣袤) 總面積三百五十五萬七千方哩にして、殆ど歐洲に仝し、東西最も長き所二千八百哩、南北最も廣き所千七百哩あり。

(海岸線) 合衆國の海岸線は概して、正整にして、兩岸共に深き出入なし。

(組織) 合衆國は四大地方より成る、東方太西洋高地及斜面、中央沿川地方、西方高原、太平洋斜面是なり。

一、太西洋部ハアパラチヤンの山脊及高地と、太西洋に面する斜面とより成る。此地方にて、最高の峰を白山、綠山、藍山及びアレガニー山脈とす、太西洋部は、大製造地方なり。

二、中央沿川地方は、ミシシッピーに沿へる廣大なる部分にして、徐々に墨西哥灣に下る、豐饒にして、農業盛なる地方とす。

三、西方高原(平均五千呎)はロッキー山脈とシーラネバダ(Sierra Nevada)及びカスケード(Cascade)山脈との間に橫はり、三流域を包む。即ち北に在りては、コロンビヤ河の流域、南に在りてはコロラド河の流域、中央に在りては、大鹽湖周圍の大盆地、是なり。此高地は到る處、乾燥にして、土地豐饒ならずと雖ども、金銀の鑛山に富あり。

四、太平洋斜面は、シーラネバダ及びカスケードの山項より太平洋に下る處の斜面を云ふ、然れども西端に至れば海岸山脈聳てり。

(河流) 合衆國に於て最大なる河をミシシッピー(長さ四千二百哩)と爲す、深河頗る多く、又頗る大なり、ミシシッピーは殆と水源に至るまで、舟航するを得べく、其深河ミッソリー(Missouri)河の如きも、ロッキー山に至るまで、航行するを得べし、コロンビヤ及びコロラド(Colorado)は西方斜面に於ける大河なり。

太西洋斜面に於ける主要の河川をハドソン、デラウエーナ(Delaware)、サスクヒハンナ(Susquehanna)

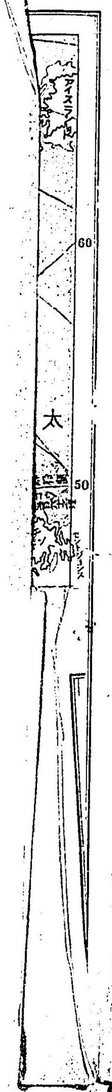
hanna)、ポトマック(Potomac)、セヒームス(James)、サバンナ(Savannah)等と爲す。

(湖水)　合衆國に於ける二大湖を、ミシガン及び大鹽湖と曰ふ。大鹽湖は、北米大陸的流域の中心なり。此湖は吐口を有せず唯蒸發するのみ。其水頗る鹹にして、大洋の水は、鹽分僅に百分三なるも、此水は百分三十二に及び、人體水中に沈まず。此湖水は、海面を拔くこと四千二百呎の高地に在り。

(氣候)　合衆國は、全く温帶地方に在りと雖も、亦半寒帶より半熱帶に至り、寒冷濕潤なる季候より酷熱乾燥の氣候に至るまで、各種の氣候を有せり。其氣候は歐洲に比し、頗る大陸的にして、天然の區劃地方、各特種の氣候を有せり。即ち(一)東方斜面は夏熱く冬寒し、されど太西洋に近きを以て、海洋の勢力を受く。(二)ミシシッピー河邊の氣候は、全く其緯度に從て變化あり。(三)西方高原の氣候は乾燥酷熱なり。(四)太平洋斜面は、軟風驟雨大洋より來り、氣候頗る温和なりとす。

太平洋沿岸及び墨西哥灣沿岸は、此國に於て最も降雨の多き地方なり。又太平洋沿岸は、太西洋沿岸に比すれば概して温暖にして、濕潤なりとす。

(植物)　合衆國は、半寒帶より半熱帶に至るまで、各種の植物を有す。即ち北方に於



hanna)、ポトマック(Potomac)、ウヰーミス(James)、サバンナ(Savannah)等と爲す。

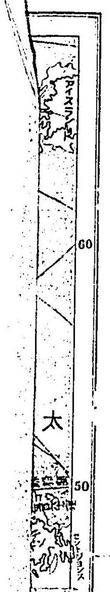
(湖水) 合衆國に於ける二大湖を、ミシガン及び大鹽湖と曰ふ。

大鹽湖は、北米大陸的流域の中心なり。此湖は吐口を有せず唯蒸發するのみ。其水頗る鹹にして、大洋の水は、鹽分僅に百分三なるも、此水は百分三十二に及び、人體水中に沈まず。此湖水は、海面を拔くこと四千二百呎の高地に在り。

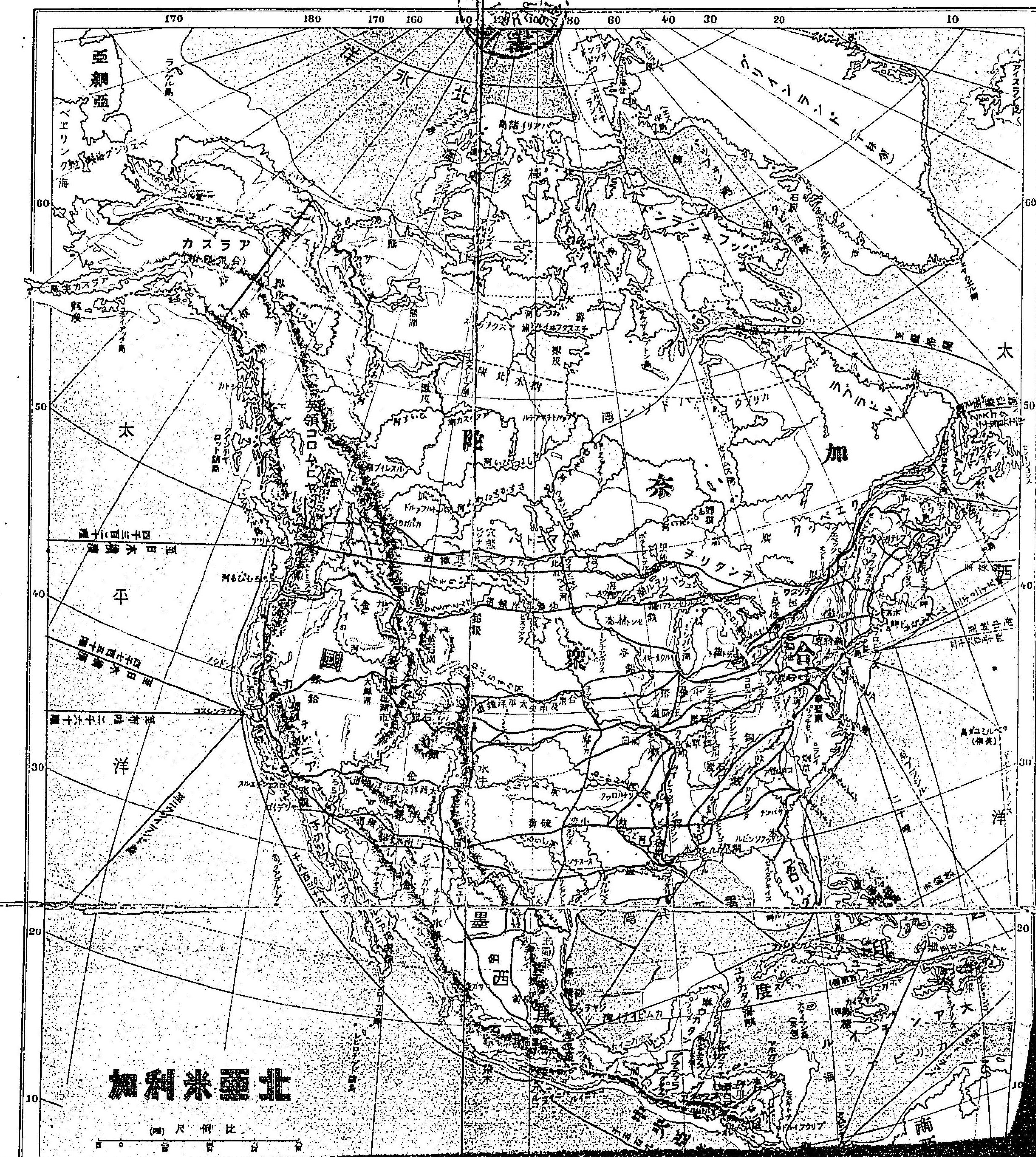
(氣候) 合衆國は、全く温帶地方に在りと雖も、亦半寒帶より半熱帶に至り、寒冷温潤なる季候より酷熱乾燥の氣候に至るまで、各種の氣候を有せり。其氣候は歐洲に比し、頗る大陸的にして、天然の區劃地方、各特種の氣候を有せり。即ち(一)東方斜面は夏熱く冬寒し、されど太西洋に近きを以て、海洋の勢力を受く。(二)ミシシッピー河邊の氣候は、全く其緯度に從て變化あり。(三)西方高原の氣候は乾燥酷熱なり。(四)太平洋斜面は、軟風驟雨大洋より來り、氣候頗る温和なりとす。

太平洋沿岸及び墨西哥灣沿岸は、此國に於て最も降雨の多き地方なり。又太平洋沿岸は、太西洋沿岸に比すれば概して温暖にして、濕潤なりとす。

(植物) 合衆國は、半寒帶より半熱帶に至るまで各種の植物を有す。即ち北方に於



亞細亞
北氷洋
カスピア
英領コロムビヤ
太平洋
墨西哥
加奈陀
合衆國
太平洋
西印度
170
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
60
50
40
30
20



北亜米利加
比例尺
太平洋

北亜米利加
比例尺
南亞米利加
130
120
110
100
90
80
70
10

合衆國棉花採收及び製造の圖

ては、白松・山毛欅・桑・皮・樫・楡・胡桃及楓樹を産し、南方に於ては、荆球花・蒲葵及洋玉蘭繁茂せり。又北方に於ては燕麥・裸麥及大麥を産し、中央には玉蜀黍・煙草及小麥、南方には木綿・砂糖及米を産し、低平なる海岸地方には、橙・石榴・無花果能く生長す。

（礦物）　合衆國の礦物に富めること、實に計るべからず。其太西洋諸州及中央諸州に於ける炭田は、英蘭の全土に等しき大さを有し、又全山殆ど鐵鑛を以て成る高山數多あり。ロッキー山諸州及太平洋諸州に在りて、毎年金銀の産出夥しとす。

一、アパラチヤン炭田は廣さ七萬方哩あり、英國及威勒士を合したるものより大なり。

二、金の産出地はカリフオルニヤ州を第一とす。コロラド、モンタナ（Montana）及ネバダ（Nevada）州の如き、亦頗る多量を産出す。コロラド及モンタナは主要なる銀産出地なり。

（産業）　國の産業は農業を以て第一と爲す。牧畜業亦頗る盛なり。礦業は毎年進歩發達の傾向あり。製造はオハイオ河及ポトマック河の北に横はれる諸州に於て、頗る盛なり。漁業又逐次進歩の勢を呈し、既に海岸諸州に在て一の大富源となれり。

（商業）　合衆國の内地貿易は、頗る大にして進歩亦速なり。其貿易は各州の産物を互に交換するに在りて、各州は其氣候植物及び産業大に異なるゑ由り、自から其交換を大にす。外國貿易も亦盛にして、輸出輸入共に其增加年々頗る著しとす。英國は其最大取引國にして、獨逸・佛蘭西之に次ぐ。

一、輸出品の主要なるものゑ木綿・穀類・石油・金・銀及び煙草となし、木綿及穀類は、主として英國に出し、石油は主として佛國に向ひ、穀粉・材木及び製造品は西印度及び南米に至る。

二、輸入品の主要なるものゑ、鍛鐵及び鐵礦・織物・葡萄酒・絹等と爲す。鍛鐵・鐵礦・織物は英國より、葡萄酒及び絹は佛國より、茶・生絹及び陶器は支那より、珈琲はジヤバ（Java）及びブラジル（Brazil）より砂糖及び果物は西印度より來る。

（交通）　合衆國は鐵道及び水路に富むも善良なる道路甚だ少し。方今鐵道の長さ殆んど十八萬哩に亙り、尙年々增加の勢あり。其水路に至りては大なるもの三あり。其道路は如何と云ふに、西方は勿論東方の或る部分に於て道路は木材にて築けるものすら頗る少く、多くは單に車轍の作れる小路に過ぎずとす。」

一、毎年新に布設せらるゝ鐵道殆ど一万哩なり。

二、三大水路とは、ミシシツピー河、エリー運河及大湖是なり。ミシシツピーは、其流河の舟航すべきもの三十三あり。エリー運河は、紐育州を横斷して、大湖に達し、之とハドソン河とゑ連結す。大湖はウエルランド（Welland）其他の運河及びセントローレンス河と共に東北

の大水路を成す。

（電信及郵便）合衆國に於ては、電線長さ五十五萬哩あり、電話機三十五萬あり、又郵便局に於て取扱ふ書狀及び小荷物の數一年殆ど六十億あり。

（人民）人口殆ど七千萬あり、平均一方哩に付、廿五人に當る。其人民多くは英人及び獨逸人の子孫にして、英語を用ふ、黑人種は凡そ八百萬あり、愈々增加の傾あり。土人なる亞米利加印度人種は、次第に減少し、現今三十萬許に過ぎず。

（政體）合衆國の政體は、聯邦共和政體にして、其立法院をコングレスと稱し、上下兩院より成る。行政の長を大統領と云ふ、又海陸軍の總督あり。

陸軍は頗る小にして、兵士僅に二萬五千、其中將校二千四百人なりとす。然れども一旦危機至れば、數百萬の青年皆國に奈すべし。

海軍は六十六の軍艦より成り、多くは鋼鐵艦なりとす。造船所十あり、其最も大なるものは、ブルークリン(Brooklyn)、チャーレスタウン(Charlestown)及びポーツマウス(Portsmouth)に在り。

（宗教及教育）合衆國に於ては、宗教頗る自由にして、現今新教徒殆ど三千萬、舊教徒殆ど千萬あり。全國到る處大學校、女學校、高等學校、小學校等の設あり、殊に北部

紐育府の圖

諸州及新英蘭の諸州に於ては、教育最も盛なり。

（大都府）人口の五分四は、田舍に住居すと雖も、大都府亦頗る多く、殊に商工業幷び行はるゝ地方より於て最も多しとす。方今人口十萬以上を有する都府廿二あり、其中二十萬以上を有するもの十六、更に此中五十萬以上のもの七、百萬以上のもの四あり。紐育(New York)、フィラデルフヒア(Philadelphia)、ブルークリン、シカゴ(Chicago)、ボストン(Boston)、セントルイ(St. Louis)、バルチモール(Baltimore)、シンシナチ(Cincinnati)、桑港(San-Francisco)、ニューオルリヤンス(New Orleans)は國の十大都府たり。

紐育百七十萬)は、商業及び製造業の中心にして、又新世界に於て最も富み、最も大なる市府なり。ハドソン河口マンハツタン(Manhattan)と稱する長嶋に立ち、人口の點に於て世界の大都府龍動の次に位す。

（區劃）合衆國は四十四州と五部とより成る、即ち北部太西洋區に九州あり、南部太西洋區に八州あり、北部中央區に十二州あり、南部中央區に七州一部あり、西方區に八州四部あり、此外コロンビヤ縣(District of Columbia)及び印何地方(Indian Territory)あり。

墨西哥

（緒說）墨西哥は、南北両亞米利加を連結する大地峽の北方に在り、嘗てアメラック(Aztecs)の帝國として頗る强大なりしも、西班牙人の奪ふ處となり、新西班牙の名を得、西班牙人の權力衰ふるに及び、起て共和國を組成し、又墺地利のマキシミリアン(Maximilian)に征服せられ、マキシミリアン敗死の後墨西哥は合衆國と同じく、終に聯邦共和國を組成せり。

（境界）墨西哥は二大洋の間に介まる、其境界左の如し。

一、北　合衆國　　二、東　墨西哥灣

三、南　中央亞米利加　　四、西　太平洋

（面積）墨西哥の面積は、七十四萬方哩にして、正よ墺地利國の三倍ありとす。

（組織）墨西哥の組織は、頗る簡單あり。此國は一大高原にして、両側高山脈連亙、唯海岸に沿へる處低原ありとす、高原の南端に火山十三あり、世界に於て最も高きものゝ中に數へらる。

一、主要の高原をアナハヅク(Anahuac)高原と爲す、平均七千六百呎の高さなり。

二、重なる山脈をシーラマドル(Sierra Madre)といひ、横山脈の重なるものをコルヂレラドアナハック(Cordillera de Anahuac)といふ、ポヽカテペトル(Popocatepetl)火山一萬七千八百八十四呎)は即ち此山脈の最高峰なり。

三、墨西哥に於ては、舟航すべき河流なし。

（氣候）此國三種の地方より成り、隨て其氣候に三種の區別あり、熱潤なる低地の氣候、温和乾燥なる高原の氣候、及寒冷なる山地の氣候、是なり、墨西哥よは乾燥降雨の二季あり、雨季は六月に始まり、十一月よ終る。

（植物）低地に於る森林は、桃心木（コチニール）及び其他の木材に富めり、砂糖、甘蔗、バニラ、椰樹等の培養亦頗る盛なり。覇王樹は此國に於て特に著しきものにして、「コチニール」霸王樹は最も價値あるものなり、赤色染料に供する「コチニール」虫は、即ち此樹に棲息生長す。高地に於ては、木綿、珈琲、煙草及穀類を産し、小麥及大麥は、海面を抜くこと八千呎の山岳地方に産す。

（礦物）墨西哥は銀を産すること最も多く、方今世界第一と稱す、此外又多量の金少許の銅を産す。

一、墨西哥より出づる銀は、世界産出高の二分一より多し。千八百八十二年に於ては、其産出價格殆ど六百萬磅なりき。

二、此國に於て礦山五百六十九あり其中五百四十一は銀山なり。

（産業及貿易）主要の産業を礦業及農業と爲す、製造業に至りては、記すべきものなし、輸出品は銀、麻、珈琲、獸皮、桃心木等を主とし、大概合衆國及び英國に輸出す。輸入の大半は、佛國より來れるものにして英國より輸入するものは、木綿及び器械とす。

（鐵道）方今鐵道の延長五千哩餘あり、以て首府とヴエラクルーズ、ニーオルリヤンズ及び桑港とを連結せり。

（人民）墨西哥の人口、殆ど一千二百萬あり、人民多くは、西班牙人の子孫及混合種にして、西語を用ふ。墨西哥印甸人は、次第に其數を減せり。

一、宗教最も盛く行はる、教育は却歩の狀況を呈せり。

二、政體は聯邦共和政治にして、其國廿八州及び下カリフオルニヤ一部より成る。

（都府）墨西哥には、人口五萬以上の都府六あり、其中十萬以上のもの二あり、メキシコ（首府及びガダラジャラ（Guadalajara）是なり。

メキシコ（卅二萬）はプナノック高原の中央に立ち高さ凡七千五百呎の處にあり。市街廣くして、壯大なる建築並び立ち、府の周圍には廣濶なる湖水、蒼鬱たる松柏の深林、茫々たる稻田參雜ありて、最色頗る美なり。府の中央に佛蹠あり。金銀寶石之を蔽ひ、新世界中最も壯麗なるものなり。

（ユーカタン）ユーカタン（Yucatan）は墨西哥聯邦の一なれども、時々獨立を唱ふ。其氣候頗る好く、地味豊饒なり、首府をメリダ（Merida）と曰ひ、人口三萬八千あり、港の主要なるものをカムピーチー（Campeachy）といふ、同名の灣頭にあり。

中央亞米利加

（位置其他）　中央亞米利加は、墨西哥とパナマ州との間に横はる小共和國あり、全國豊饒なる高原にして、其高原は徐々に大洋に下れり、各種の熱帶植物之に產す、太平洋を周れる火山帶の一部、又此地方に在り、故に頗る激烈なる地震屢々起る。

中央亞米利加の面積凡ち十八万六千方哩、人口三百萬あり、平均一方哩十六人に當る。

（氣候其他）　其氣候墨西哥に同じ、地味肥沃にして、年中各種の收獲絶えず、珈琲、椰子、砂糖、藍、煙草及び「バニラ」は、產物の主要なるものなり。

（貿易）　中央亞米利加諸州の貿易、頗る小にして、其輸出品の主要なるものを、藍、珈琲及び桃心木等とす。

（區劃）　中央亞米利加には、共和國五、英國殖民地一、小王國一あり、即ち左の如し。

ガテマラ（Guatemala）　首府ニューガテマラ（New Guatemala）

サンサルバドル（San Salvador）　首府サンサルバドル

英領ホンヂユラス（殖民地）　首府ベライズ（Belize）

ニカラガ（Nicaragua）　首府マナガ（Managua）

ホンヂユラス　首府テグシガルパ（Tegucigalpa）

モスキーシア王國（Mosquitia）　首府グレイタウン（Greytown）

コスタリカ（Costa Rica）　首府サンジヨウス（San Jose）

（人民其他）　勢力ある人種は、皆西班牙人の子孫なり、西語最も廣く行はる、然れども人民の大半は、印度人なりとす。宗教は羅馬教なり。

中央亞米利加にては、目下ニカラガ運河開鑿の擧あり、此はグレータウンよりニカラガ湖を經て通ずるものにして、其目的パナマ運河と異ならず。

西印度諸島

（緒說）　フロリダの南端セーブル岬よりオリノコ（Orinoco）河の三稜洲に至るまで、

南北亞米利加間に横はれる無數の嶋嶼を總稱して、西印度諸嶋と曰ふ。その新大陸に於けるは、恰も東印度諸嶋の舊大陸に於けると同地位に在り、即ち両群嶋共に温暖なる海上に横はり、良港頗る多く、島嶼間の水路又多く、地味頗る肥沃なりとす。

（面積及區劃）　西印度諸嶋の面積、總計九萬五千方哩にして普通之を大別して、大アンチル諸嶋(Antilles)、小アンチル諸島及びバハマ(Bahamas)諸島と爲す。

一、大アンチル諸嶋中にはキユバ(Cuba)、ヘーチー(Hayti)、ジヤマイカ(Jamaica)及びポルトリコ(Porto Rico)あり

二、小アンチル諸嶋を分ちて、三となす。

（イ）下風諸嶋即ちバージン(Virgin)諸嶋よりドミニカ(Dominica)嶋に至る。

（ロ）向風諸嶋即ちマーチニク(Martinique)嶋よりトリニダット(Trinidad)嶋に至る。

（ハ）ベネゾエラ(Venezuela)諸嶋即ち南米の海岸に沿うて散在せるもの。

三、バハマ諸嶋は一群の低平なる珊瑚嶋にして、其周圍に珊瑚岩出没し、舟航頗る危險あり。

（性質）　群嶋皆山岳多く、唯小アンチル及びバハマ諸嶋中東部一帯のものは然らずとす。其山峰は皆森林を以て蔽はれ、又小アンチルには火山數多ありとす。

（氣候）　バハマを除き、其他の群嶋皆、熱帶に横はれども、其氣候は海軟風及び貿易風の爲め暑熱甚しからずとす。其群嶋を概言すれば、唯乾燥、降雨の二季を有するのみ、降雨季は五月より十一月に至る。

（植物）　熱帶植物は、皆之に產す。最良なる砂糖及び珈琲、其他木綿、椰樹及び煙草の類は、西印度諸嶋中概ね皆之を產す。此群嶋は又鳳梨、石榴、橙、レモン、及び麵果の如きものに頗る富めり。バハマ諸嶋に於ては、材木殊に桃心木を以て主要の富となす。

（動物）　西印度には獸類甚だ少く、短耳兎(Agouti)は、此國に於て最も大なる哺乳獸なり、其他にハ蝙蝠あり、鳥類中には蜂雀、鸚鵡、百舌鳥及び色澤美麗なる「トロゴン」(Trogon 孔雀の類)と稱する鳥あり。

（貿易）　輸出品の主要なるものを、甘蔗、煙草、珈琲、椰子、木綿及び香料と爲す。

（人民）　土地廣く、地味膏腴なるに比して人口甚だ少く、諸嶋合して三百萬許に過きず、多くは皆黑人に非ずんは西班牙移住民の子孫なりとす、西語最も行はる。

（政治上の區劃）　西班牙、英國、佛蘭西、和蘭及び丁抹の歐洲諸國、此群嶋を分割所有せり、唯ヘーチーのみ、二の獨立共和國に分る。

一、西班牙はキユバ及びポルトリコを領す。

二、英國は大アンチルに於てジャマイカ、小アンチルに於てトリニダード、トバゴ(Tobago)、バルバドース(Barbados)、セントビンセント(St. Vincent)、ドミニカ(Dominica)、セントキッツ(St. Kitts)、ネビス(Nevis)等を有し、又バハマ群嶋を領す。英領なるベルムーダ(Bermuda)諸嶋は、或は西印度諸嶋中に加へらる

三、佛蘭西は、マーチニク、ガダローブ(Guadaloupe)其他二三の小嶋を有す。

四、和蘭はクラカチ(Curacao)を主とし、其他二三の小嶋を有し、佛國とセントマーチン(St. Martin)を分有す。

五、丁抹は、バージン諸嶋中最大なるサンタクルーズ(Santa Cruz)を有し、又セントトーマス(St. Thomas)及びセントジョン嶋を領す。

(西班牙領西印度諸嶋)

西印度諸嶋に於ける西領諸嶋をキュバ及びポルトリコと爲す。共に大アンチル諸嶋の中なりとす。

一、キュバは、愛蘭の一倍三分一なり。山脈嶋を貫走し、其タルキノ峰(Turquino Peak)の如きは、高さ八千四百呎に達し、海上遠に之を望むを得べし。其森林には桃心木及び黒檀多し、鐵道一千哩あり、人口百万を出でず、其内白人は一万餘とす。砂糖の輸出頗る大にして、概れ合衆國に至る。首府をハバナ(Havanna)人口二十萬といふ。フロリダ海峡に臨める美麗の

部府にして、府内の一寺院内にコロンブスの遺物を納む。

二、ポルトリコハ、アンチル諸嶋中最も氣候好き所なり。

(英領西印度諸嶋)

西印度諸島に於ける英領をジャマイカ、バハマ及び小アンチルの大部分と爲す。

一、ジャマイカは、其大さキュバ及びヘーチーに次ぐ。北岸は風景最も美にして、山中に入れば、氣候人身に適す。河流頗る多く、殆ど二百に達すれども、舟航すべきものは唯ブラックリバー(黑河)あるのみ。砂糖珈琲及び香料は、此嶋主要の輸出物なり、人口五十萬、首都をスパニッシュタウン(Spanish Town)と曰ふ。商業の中心府をキングストン(Kingston)と曰ふ。

二、バハマ諸嶋は、二十の嶋嶼より成る。珊瑚嶋にして、海綿の貿易頗る大なり、珊瑚、絲龜及び鹽又輸出せらる。首府をナッソー(Nassau)と曰ふ。アットランタ(Watling)嶋へ、即ち千四百九十二年コロンブスの發見したる處にして、新世界第一の發見地と爲す。

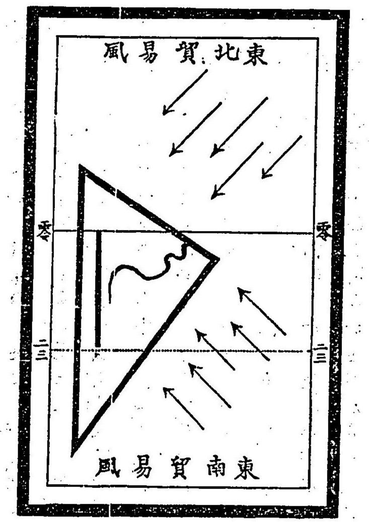
三、トリニダットは向風諸嶋中最大なるものにして、南米に近く、地濕育の湖あるを以て、其名頗る高し。バルバドース嶋は、向風諸嶋中人口最も稠密なる所なり。又下風諸嶋中最も產物の多き所なり。アンチガと曰ふ。砂糖糖水酒等を輸出す。

四、ベルムーダ諸嶋ハ北緯卅二度に在りて、殆ど四百の珊瑚嶋より成る。其中人民の往するもの五あり、最大なる都府をハミルトン(Hamilton)と曰ふ。

（ヘーチー）　此嶋は、其大さキユバに次ぐ。向風海峽を隔てゝキユバと相對す。人口百萬に至らず、大概黑人及び混合種より成る。嶋を分ちて二州と爲す。ヘーチー共和國及びドミニカン共和國是なり。共に頗る未開の有樣に在りて、即ち沃野開墾せられず、豊饒なる礦山採掘せられざるなり。而して白人種は、此國に於て土地を所有するを得ず、官吏となることを得ず、又選擧權を有するを得ざるなり。ヘーチー共和國の首府をポルトオープリンス(Port-au-prince)人口四萬五千と曰ふ、良港を有せり。珈琲及び椰子は此國主要の輸出物なり。ドミニカン共和國は又サンドミンゴ(San Domingo)共和國と稱す、首府をサンドミンゴ(人口一萬五千)と曰ふ、主要の輸出物を蘇木、桃心木等と爲す。

南亞米利加總論

（緒說の一）　南亞米利加は全部殆んど熱帶中に在り、又其大半は貿易風の地位に在り、其形狀たる頗る簡單にして、直角三角形を爲し、其風向即ち東南東北に蒸發最も烈しき南太洋を有せり、即ち南北緯三十度以內の南太西洋及び北太西洋あり。而して其三十度は、東北、東南兩貿易風の限界にして、此兩貿易風は、常に兩大洋より南亞米利加內地に向ひて吹くものなり、又其吹き來るや直角に陸地に向ふが故より其大陸より送る濕氣は、世界に於て最も多量のものなりとす。



（緒說の二）　今や此雨氣を帶べる暖風、大陸を吹き過ぐる途中數多の山脈より過

ひて、高く空中に飛騰し、其濕氣の幾分を收縮せられ、雨となる故ゝ各山脈の麓に於て既に大河を爲すに足る。況んや此二大貿易風は、遂に大陸の中心即ち赤道に於て相合はざるべからず、又遇ふものなり。蓋し貿易風は、世界各所に於て然りとなす。二風相遇ふ、此に於てか相互の衝突に由りて、高く空中に登り、其含有する濕氣は收縮せられて大雨を降すなり。夫れ此の如く大降雨ある以上は、又必ず世界第一の大河なかるべからず。而して此貿易風全く大陸を通過して、將に太平洋に至らんとするの處、アンデスの大山脈高く空中に聳ゆ、此山脈は、頗る高きを以て貿易風も遂に之か爲に少量の濕氣だも含有するを得ず、皆收縮せられて雨となり、アンデスの西側に至るに及んでは、既に全く乾燥となる故に、南米の太平洋海岸に於ては降雨なく、又其地方の大半は荒涼たる砂漠なりとす。

(緒說の三) 既に前述の如く、東北、東南の兩貿易風相合して最も大なる降雨ある以上は世界第一の大河なかるべからず、是に於てかアマゾン(Amazon)河あり、今夫れ植物は主として熱潤の二者に由りて生育するものなり、而してアマゾン河谷は濕氣最も多し、然らば極度の熱は如何、是亦同じく存せり、何となれば、此大河谷は

熱帶中に在るが故に、太陽の光線常に垂直あるべければなり、既に極度の熱濕兩氣を有す、植物の最も饒多なるは當然なり、即ち此國には世界最大の深林あるを以て知るべし、此森林地方を、セルバス(Selvas)と稱す、又此地方は唯樹木の最も饒多なるのみならず、其種類最も多しとなす、且や蟲類は常に植物の繁榮に伴ふものあり、故にアマゾン河谷に於ては、蟲の種類最も多く、又其數最も多く、虫聲數哩を隔てゝ、海上より之を聞くを得べし。

(組織) 此大陸の組織頗る簡單にして西方一帶山脈長く連り、又オリノコ(Orinoco)河口よりラプラタ河口に至るまで長き平原あり、其東に小山脈數多あり、又西方に於て太平洋に降る短急峻嶮ある斜面、東方に於て太西洋に降る長き緩徐ある斜面あり、之を主要なる二斜面と爲す、其他の小斜面は、北方に向へる短斜面(オリノコ流域及び南方に向へる長斜面(パラグー及びパラナの河谷)なりとす。

南北亞米利加の類似する點、左の如し。

甲、兩大陸共に、南北に至るに從ひ、次第に狹小となる。

乙、兩大陸共に、南北最も長し。

丙、両大陸共に其西岸出入少く殆んど直線なりとす。
丁、両大陸共に、西に高山脈を有す。
戊、両大陸共に東方に小山脈を有せり。
已、両大陸共に其西方斜面頗る短く、東方斜面頗る長し。
庚、両大陸の大河は、共に東流す、アマゾン、セントローレンス即ち是なり。
辛、両大陸共に、大平原及び大流域を有す。

(廣袤及び海岸線)　南米の海岸線は、其面積に比して頗る短し、此大陸長き處四千五百五十哩、廣き處三千二百哩、面積六百五十萬方哩なり、海岸線の長さ、一萬五千哩よりして、平均四百卅五方哩に付、一哩の割合なり、海岸線は斯く短きも、舟航すべき河流頗る長きを以て之が欠を補へり、

南米總面積の三分の二は熱帶に在りとす。

(港灣及び海峽)　海岸出入少く、港灣隨て稀なり、唯河口處々に灣形を爲すあり、アマゾン及びラプラタの河口は、其最も大なるものなり、海峽唯一あり、マゼラン(Magellan)海峽とす。

(岬及び島嶼)　南米は岬亦甚だ少く、最も著きもの四あり、北に於てガリナス(Gallinas)岬、東に於てセントロック(St. Roque)岬、南に於てホルン(Horn)岬、西に於てパリナ(Parina)海角是なり、嶋嶼亦少く、其主要なるものをチラデルフュゴ(Tierra-del Fuego)群嶋と謂ふ、商業上有用の處に非す、其他西南海岸に、無數の小嶋あり、東方海岸アマゾン河口に於るマラジョ(Marajo)嶋は、南米第一の大嶋たり、其他の嶋嶼には

(一)ガラパガス(Galapagos)諸嶋　(二)チンチャ(Chincha)諸嶋
(三)フアルクランド(Falkland)諸嶋　(四)ジュアンフエルナンデス(Juan Fernandez)

(山嶽及び高地)　南米に於て最も重要なる山脈を、アンデス(Andes)山脈と爲す、ホルン(Horn)岬ヨリパナマ(Panama)地峽に至るまで、蜿蜒四千五百哩に亙る、世界最長のものなり、アンデスの特有點は、(一)其連續、(二)頗る高きこと、(平均凡ろ一萬二千呎)(三)其山脈の二重三重ある處互に相平行すること、(四)其横山脈、(五)火山多きこと、等にあり、パリム(Parimo)山脈、ギアナ(Guiana)山脈及びブラジル(Brazil)山脈は、東方に於ける小山脈なりとす、高地の最も廣きものをボリビヤ(Bolivia)高地となし、最も高きものをチチカヽ(Titicaca)高地と爲す、海面を拔くこと一萬二千七百六十呎なり。

南米には百三十の活火山其他數多の熄火山ありと云ふ。

(アンデス山脈)　アンデス山脈い、普通之を三部に分つ、南アンデス、中央アンデス、北アンデスは是なり。

一、南アンデスは、單山脈にして、南回歸線に至るまでを謂ひ、其最高峰をアコンカガ(Aconcagua)と爲す、又南米第一の高峰たり。

二、中央アンデスは、二の平行山脈なり、殆んど南緯十度に至るまでを謂ふ、二山脈間高き土地を包む、其最高峰をイリマニ(Illimani)及びソラヽ(Sorata)と爲す。

三、北アンデスは、南緯十度に始まり、三重山脈を成せり、アンチサナ(Antisana)、コトパキシ(Cotopaxi)、チンボラゾ(Chimborazo)二萬七百呎)三大火山此中に在り。

(平原及び砂漠)　南亞米利加は、最も著しき平原大陸にして、オリノコ河口よりラプラタ河口に至るまで、全土實に一大平原と見るを得べし、唯低き狹き一分水界あるのみ、而して此平原は、明に之を三部に分つを得べし、オリノコ平原(其最平坦なる處を「ラノス」と稱す)、アマゾン平原(或は「セルバス」と稱す)、ラプラタ平原(其最も平坦なる處をパンパスと稱す是あり頗る狹小なる砂漠一あるのみ、太平洋海岸に於けるアタカマ(Atacama)砂漠是あり。

(河流)　南米の河系は、世界に於て最も簡單あるものにして、又最も大なるものなりとす、其アマゾン河の如き、源河を合して少なくとも五萬哩、大船舟航するを得べし、ブラジルのみに於て、舟航すべき河流二萬五千哩に及べり、若し夫れオリノコに於ける瀑布、及び上マデイラ(Madeira)とパラグー(Paraguay)の一源河との間に在る狹き分水界地方を除けば、オリノコ三稜州よりラプラタ河畔ブエノスアイレス(Buenos Ayres)に至るまで、大陸の中心を通して短艇にて直行すると難きに非ずと爲す、南米に於て、主要なる河流三あり、オリノコ、アマゾン及ひラプラタ是あり、此三河は殆んと一河と見るを得べし、其他の大河又頗る多し、此の如く舟運の便を與ふる河流頗る多きを以て、其海岸線の短きを補うて、尚餘ありと云ふべし。

(湖水)　南米には湖水甚だ少し、ベネジラ(Venezuela)に於けるマラケーボ(Maracaybo)湖は、海水と相通ずるものあり、チヽカヽ湖は全名の高地に在り、殆んどオンタリオ湖と其大さを同じくす、海面を抜くこと一萬二千呎餘の高き處に在り。

(氣候)　南亞米利加は、其大半熱帶に在り、又貿易風を受くるを以て、酷熱濕潤なりとす、然れども高地或は南緯三十度以南の狹小なる地方は、氣候涼しとす、蓋し一は土地高きに由り其暑熱を減じ、一は土地狹小なるに由り、海洋の影響を受くると多

く且重に吹き來る風西北よりするを以てなり。故に西海岸に於て、三十度以南と以北とは、其氣候植物共に著しき差異あるあり。

（植物）南米は、植物の大陸と謂ふべし。椰樹其他各種の花木夥しく、又造船に適せる樹木多し。「シンコナ」樹はアンデス山の斜面に出づ、其皮より幾那を得べし。其他甘蔗・珈琲樹カ、オ樹・煙草・粉葛・甘蕉及び熱帶半熱帶の果實頗る多しとす、

（動物）南米に於ては亞細亞亞弗利加に於ける犀及び象の如きもの之なしとす、然れとも獏・無峰駝・羢羊・亞獅及び猪豹の如き猛獸あり、其大森林には、獼猴の類多し。南米に於て最も多きものを蟲類と爲す、鳥類も亦種類頗る多く、其中には羽毛・聲音の至て美なるものあり、山中には鶏鶏・鵰・鵰等あり、蟒蛇・鰐魚の類は、熱帶の河流又は卑濕の地に栖息す。

（礦物）南米は頗る礦物に富み、アンデス山邊到る處金・銀・銅・錫等を出す。其ポリビヤに於けるポトシ（Potosi）銀山の如き、千五百四十五年其發見以來採掘したる銀總計六億磅に上れりと云ふ。此大陸は又寶石に富み、ブラジルに金剛石あり、ニューグラナダ（New Granada）に碧玉あり、

（住民）南米の土人は、之を印度人と稱す、其數五百萬に至らず、現今の住民は、主として歐洲人、印度人、黑人及び混合種より成る。白人種い全人口の殆んど三分一にして、重に西班牙人の子孫なり、唯ブラジル國に於ては、葡萄牙人の子孫多し。

（人口及び文明）全大陸の人口、殆んど伊太利に同じ。其面積を云へば、伊太利に七十倍せり、實に此大陸は、唯海岸一帶に人民の住居するあるのみにして、其內地の狀態に至りては、未だ詳知せらるざるあり。方今南米の諸國は皆共和國なり。

東の岸向ジャマイカ　獨立の人キニュタン　蔡國の中心ステンヒ

コロンビヤ（COLOMBIA）

（コロンビヤ）　コロンビヤは南亞米利加の最北に位し、九州より成れる聯邦共和國なり、其面積五十萬方哩餘、人口凡そ四百萬あり、其最も人口多き處はコーカ（Cauca）及びマグダレナ（Magdalena）二河の上流に沿へる地方にして、又其地高きを以て溫帶穀物の生産に適せり、國の西方にはアンデス山脈三線をなして高く連り、其間高地あり、東部は低地平原にしてオリノコ河の流域之を貫流す。

（産物貿易及び交通）　其國各種の高度を有し、隨て氣候又種々あり（熱帶より寒帶に至るまで）故に其産物亦甚だ多しとす、森林にて桃心木、松、柏、「シンコナ」等最も多く、輸出物の主要なるのを、シンコナ樹皮、珈琲、「カトオ」、「チョコレート」は之れより製するものなり、生綿及び染料と爲す、又銀鑛を輸出す、外國貿易は、主として英國及び合衆國との間に行はる、又此國には、鐵道の延長二百五十哩あり、然れども其パナマ線の如きは、世界に於て最も重要なるものゝ一にして、長さ四十七哩太西洋岸コロン（Colon）より太平洋岸パナマに至る處のものなり。

（都府）　コロンビヤに都府二あり、ボゴタ（Bogota）及びパナマ（Panama）是なり、ボゴ

タは人口十萬國の首府にして、海面より八千六百呎の高處に在り、是を以て其地赤道の北五度に在りと雖も、氣候極めて温和なり。パナマは、人口三萬五千、鐵道の西端に在り、頗る良港なりとす。

ベチジュラ（VENEZUELA）

（ベチジュラ）　ベネジュラは、八州其他數地方より成れる聯邦共和國にして、カリビアン海よりパリム山脈に擴がり、カッシクィアール（Cassiquiare）と稱する著名の大運河を有す。國の全部オリノコ流域に在り、其大半はラノスより成る。面積四十三萬二千方哩餘、人口二百萬餘あり、其人民は印甸人、西班牙人及黑人の子孫なりとす。

（物産貿易及び交通）　主なる産物を珈琲及び砂糖とす、木綿、煙草及び、カトオ亦産す。金及銅は主要の輸出物にして、森林には桃心木、黑檀及び各種の染料、樹木あり。ラノスには牛馬百千群をなして徘徊せり。鐵道の延長殆ど四百哩あり。

（都府）　ベネシュラには人口二萬以上の都府四あり、其三大都府をカラッカス（Caraccas）、バレンシア（Valencia）及びマラケーボ（Maracaybo）と曰ふ。カラッカスは首府にして、人口八萬あり。

ギアナ（GUIANA）

（ギアナ）　ギアナハ森林山岳の國にして英、佛、蘭の三國之を分劃所有せり。其森林には頗る價値ある材木多く、河流には魚類群集し、鳥類は其羽毛最も美麗なり。獸類多く、亞獅、腸猪、猪、貘、鰐魚等あり。

（英領ギアナ）　此地は三殖民地より成る、各其主河を以て名とす。デメラトン（Demerara）と曰ひ、ベルビース（Berbice）と曰ふ。面積十萬九千方哩、人口凡そ二十五萬あり。主要の輸出品を砂糖及び糖水酒とす。此國の勞働者は、黑人、混合種及び支那の賤民あり。首府をジョージタウン（Georgetown）と曰ふ。デメラ

河に臨び。

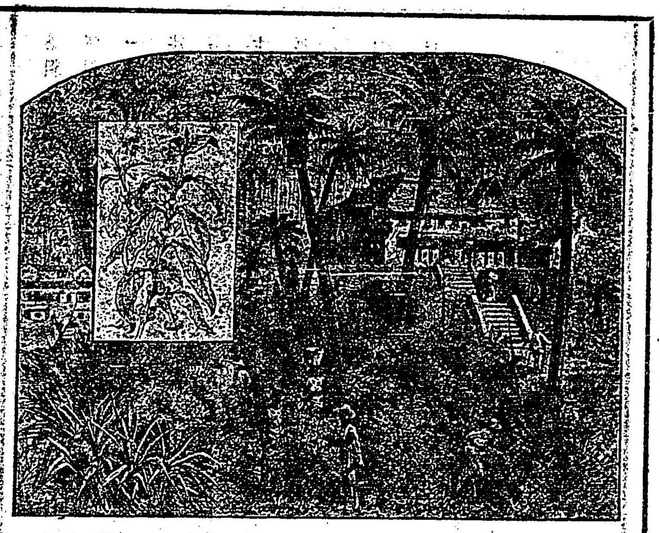
(蘭領ギアナ)　蘭領ギアナは大さ英領ギアナの三分二なり。主要の産物を砂糖と爲す。首府をパラマリボ(Paramaribo)と曰ふ。スリナム(Surinam)河口に近し。

(佛領ギアナ)　佛領ギアナは蘭領ギアナの三分一より少しく大なり。人口三萬に至らず。多くは黒人種なり。主要の産物を砂糖及香料と爲す。首府をカエン(Cayenne)と曰ひ、沼地に在りて頗る健康に害あり。久しく佛國犯罪人の謫地たり。

ブラジル (BRAZIL)

(ブラジル)　ブラジル共和國は、元と葡萄牙君主を戴きたる一國にして、其面積三百二十二萬方哩あり。合衆國(アラスカを除く)より大にして、殆んど加奈陀に等し。其の大半は三角形の高地より成る。然れども又草原、山地等各種の土地を含有し氣候の種類亦多し。人口千四百萬あり。其國殆んどアマゾン全流域、サンフランシスコ全流域、パラグー(Paraguay)流域の一部及びパラナ(Parana)、ウルグー(Uruguay)流域の大半を占む。人民多くは海岸に非ずんば大河の畔に住居し、重に黒人種多しとす。然れども又印甸人、葡萄牙人種多し。

(物産)　ブラジルの植物は其種類と其數とに於て、蓋し世界第一。栽培するべし。其國殆んど歐洲全土の廣さを有し、又各種の氣候地味を有し、其大半は太陽の光線垂直にして、無數の河川之を貫通するを以て、各種の植物に富むは當然なりとす。其大森林(即ちセルバス)には



染料、造船及び美麗なる細工に必要なる各種の樹木頗る多し、其他珈琲木綿、護謨及び煙草は、農産物の主要なるものにして、珈琲の如きは、其産出高世界の總産出高の一半を占む、ブラジルは又頗る礦物に富み、金剛石其他の寶石、金、水銀及び銅の産出甚だ多しとす。

(貿易及び交通) ブラジルの外國貿易は年を追ひて盛大に赴けり、其輸出品の主要なるものを珈琲とおし、全輸出の百分六十八を占む合衆國及び英國は、此國主要の取引國なり、鐵道の延長、殆ど六千哩に及べり。

(都府) ブラジルには人口二萬以上の都府十二あり、中十萬以上のもの三、リオデジャネーロ(Rio de Janeiro)、バヒア(Bahia)及びペルナンブコ(Pernambuco)と爲す、大都府は概ね海岸にあり。

リオデジャネーロ(廿六萬)は、又單にリオ(Rio)と稱す。ブラゼルの首府にして、リオ灣に臨む。灣口には花崗石の絶壁峙ちて偉觀の狀を爲せり。灣内には無數の岩礁點々散布し、而して府の背後には丘陵山嶽相連り之を擁す。

パラゲー(PARAGUAY)

(パラゲー) パラゲーは、南米第二の最小國にして、ピルコマヨ(Pilcomayo)及びパラナ(Parana)両河の間に横はる、南米に於て海岸を有せざるものは、獨り此國あるのみ、其両積殆んど九萬二千方哩、人口四十萬に足らず。

(物産貿易及び交通) 産物の主要なるものをパラゲー茶とおす、南米諸國多く之を用ふ、輸出品の主要なるものをパラゲー茶及び煙草と爲す、又米、麥、木綿及び砂糖を産すれども、唯本國の消費に充つるのみ、交通の點に於ては河流航行最も肝要なるものにして、鐵道の如きは延長二百哩にも足らず。

(都府) 都府皆小にして、二萬の人口を有するものなし、アサンション(Asuncion 一萬八千)はピルコマヨ及びパラゲー両河の相會する處に在り、國の首府あり。

ウルグー(URUGUAY)

(ウルグー)　ウルグーは南米第一の最小州にして、太西洋及びウルグー河の間に横はる。其南海岸は即ちラプラタ河口に臨む。面積七萬四千方哩、人口五十万餘なり。人民多くは土人の混合種にして白人種三割を占む。

(物産貿易及び交通)　此國は重に草原なるを以て收畜業最も盛なり。主要の物産及び輸出物は、亦獸皮、羊毛、乾肉、獸脂等とす。毎年家畜を殺すこと其數一百萬頭に及ぶと云ふ。穀物は單に小麥及び玉蜀黍を産するのみ。又此國には鐵道の長さ殆んど五百哩あり。國の三方に水運の便あり。

(都府)　都府皆小にして唯首府モンテヴィデオ(Monte Video)のみ、人口十四萬を有し、主要の海港なり。

アルゼンチン共和國(ARGENTINE REPUBLIC)

(アルゼンチン共和國)　アルゼンチン共和國はアンデスの東斜面に横はれる共和諸國の聯合なり。國の六分五は原野にして、殆んど平坦ありとす。其面積五十萬方哩餘、人口四百萬餘あり。其中殆んど五十萬は外國人にして、重ゑ伊太利人ありとす。パタゴニヤ(Patagonia)の大半、又此國に屬す。

(物産貿易及び交通)　牧畜は、此國唯一の産業にして、其羊毛産出の如きは、唯濠洲に劣るのみ。此共和國には、牛二千萬、羊九千萬、馬六百萬頭ありと云ふ。輸出物の主要なるものを、羊毛、獸皮、乾肉及び獸脂とす。又小麥の培養は、歐洲の移住民此國の三州に於て之に從事せり。此國の最大取引國を佛國と爲し、白耳義之に次ぎ、英國又之に次ぐ。交通に關しては水運の便に加へて、鐵道殆んど六千哩に及び、電信線殆んど三萬哩に達せり。

(都府)　此共和國は、年を追うて富及び人口を增加するの勢あり。方今人口二十萬以上を有する都府五あり。其中五萬以上のもの三あり。ブエノスアイレス、コルドバ(Cordova)及びロサリオ(Rosario)是なり。

ブエノスアイレス(五十萬)は、ラプラタ河に臨み、此國の首府なり。此府の人口は、二十年以前に比し、二倍餘に上れり、これ主として伊太利人の移住ありしが爲めなり。其港、泥土堆積し船舶近くこゝ能はず、皆十三哩を隔てゝ碇泊す。

(パタゴニヤ)　此大地方は、概ね荒涼たる砂漠なり、パタゴニヤの印甸人は、身長甚だ長くして常に馴駝(ガナコ、リア)三匹を有する駝鳥及び「パタゴニヤ」兎を獵するを以て業となす。

智利 (CHILI)

(智利)　智利は、アタカマ砂漠より、マゼラン海峽に擴がり、緯度二十八度以上に跨る、長さ二千二百哩、幅僅に百哩あり、其國耕作の下に在るものは、アンデスの二重山脈の間に横はれる高地なりとす、又此國は南氷洋よりの寒流を受くるゝ由を、他の南米諸國に比して氣候寒冷なり、隨て人民最も勤勉なりとす、其面積は十九萬七千

方哩、人口は二百七十萬あり。

(物産貿易及び交通)　農業鑛業は、主要の産業にして、小麥、大麥、砂糖及び木綿を産す、硝石は重なる輸出品にして銅之に次ぐ、小麥の輸出亦多し、抑も智利は、南米諸國中最も起業心に富める國にして、又最も殷富なるものなり、而して又最も早く鐵道を布設したる國の一にして、方今鐵道の延長殆んど千七百哩、電線の長さ殆んど一萬四千哩あり。

此國輸入の五分四は、英國より來り、輸出の五分四は、英國へ向ふ。

(都府)　智利の都府は、皆繁榮殷富にして、愈發達の勢あり。方今一萬以上の人口を有する都府十あり、中二萬以上を有するもの四、更ゝ此中十萬以上を有するもの二あり、サンチアゴ(Santiago)及びバルパライゾ(Valparaiso)是なり。

サンチアゴ(二十二萬)は、國の首府にして、壮麗なる高地に立ち、市街美麗なり。

ボリビヤ (BOLIVIA)

(ボリビヤ) ボリビヤはアンデス山間の高地及び其東方斜面より成る大國にして、其東方斜面はアマゾンの大深河なるマデーラ河之を貫流す。面積凡そ七十七萬二千方哩人口二百五十萬なり、人民の一半は、印甸人にして、混合種は四分一、白人種は其殘餘の四分一を占む。其東方アンデス山脈(西方アンデスは秘魯に在り)は、世界最大なるものゝ一にして、其最高峰は二萬呎に達せり。チヽカヽの高原は又此國に在り。

(物産商業及び交通) 農業礦業は此國主要の産業にして、米、大麥、玉蜀黍等各種の穀類を産し、又木綿、「シンコナ」、珈琲及び藍等を産す。銀は主要の採掘金屬にして、全輸出の三分二を占む。銅、硝石亦輸出せらる。ボリビヤ國は、內地に在るを以て、其輸出港はブエノスアイレスを用ふ。此國鐵道なし。

(都府) 都府皆小にして、一萬以上の人口を有するもの僅に四、二萬以上のもの僅に一なりとす、最も大なるものをラーパズ(Lapaz)と曰ふ、人口五萬六千を有す。首府をスークル(Sucre 一萬三千)と曰ひ最も有名なる府をポトシ(一萬二千)と曰ふ。

秘魯 (PERU)

(秘魯) 秘魯はアンデス山脈と其東斜面及びアマゾン上流域の大部とより成れる國として、面積四十八萬方哩、人口三百萬、其一半は印甸人なりとす。此國各種の高度を有するを以て、隨て各種の氣候即ち、北極の寒冷より熱帶の暑熱を有す。然れども分明に三地方に分つことを得べし、即ち(一)無雨荒漠ある太平洋海岸の狹き地方、(二)アンデスの高地(三)アマゾンの上流域及びウカヤール(Ucayale アマゾン深河)の全流域を包含する高地是なり。

(物産貿易及び交通) アンデス斜面の深林には、「シンコナ」を培養し、豊饒なる地方には甘蔗を植う、然れども秘魯に於て最も價値ある物産を銀硝石及び鳥糞とす。又毎年多量の羊毛收獲あり、輸出品の主要なるものを、鳥糞、硝石、砂糖及び羊毛とす。交通に於ては、國に鐵道千七百哩以上あり、其の一線は高くアンデス山頂に近

き處に達せり。

（都府）　此國には、人口二萬以上を有する都府四あり、リマ(Lima)、カラヲ(Callao)、アレキパ(Arequipa)及びクズコ(Cuzco)と爲す。

リマ(十一萬)は太平洋岸に在り、海を去ること殆んど八哩國の首府にして又南米第一の大貿易場なり、其商人は皆獨逸人なりとす。

エクワドル　(ECUADOR)

（エクワドル）　エクワドルは、太平洋に臨み、赤道直下に在り、面積凡そ二十五万方哩人口百萬餘あり。人民概ねアンデス山脈間の高地に住居せり。此國は又アマゾン源頭の東方斜面をも含有す、チンボラゾ、コトパキシ、アンチサナ等は、此の最高峰なりとす。

（物産貿易及び交通）　主要の産業を農業と爲し、「カ、オ」樹膠、珈琲及び「シンコナ」樹皮を其産物とす、「カ、オ」の輸出頗る大なり、鐵道の延長殆ど百哩なり。

（都府）　此國に於て、主要なる都府をキートー(Quito)及びガヤキール(Guayaquil)の二とす。

キートー(八萬餘)は、國の首府にして、海面を抜くこと九千五百呎の高地に在り、ガヤキール(四萬五千)は國の要港にして、其輸出の主要なるものを「カ、オ」となす。

第五篇　阿西亞尼亞

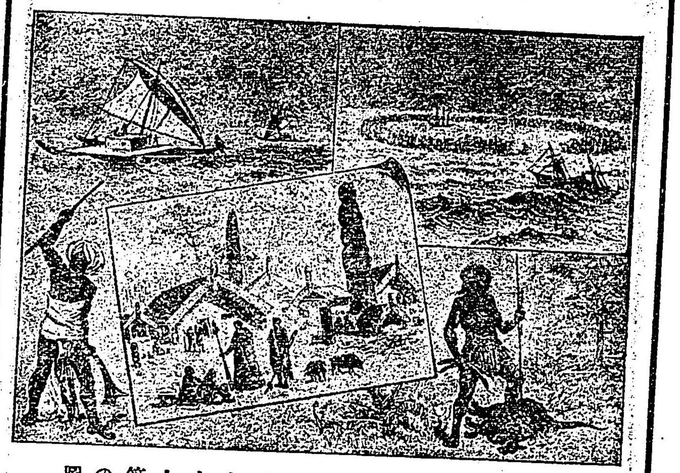
總論

阿西亞尼亞とは、太平洋に於ける無數の群嶋(濠斯太剌利亞を含む)を總稱するものにして之を大別して三部と爲す。

一、アウストラレシヤ(Australasia)、濠斯太剌利亞、ニユージーランド(New Zealand)及び近傍の諸嶋を云ふ。

二、マレイシヤ(Malaysia)一に又東印度群嶋ともいふ。

三、ポリネシヤ(Polynesia)この中には メラネシヤ(Melanesia)、マイクロネシヤ(Microonesia)を包むされど往々太平洋の東部に在る諸嶋のみを



濠州土人フィジー土人等の圖　礁嶋

ポリネシヤと稱す。

濠斯太剌利亞

(緒說) 濠斯太剌利亞は南半球に在りて歐洲の對蹠點なり歐洲人の始めて此地に殖民するや、食すべき穀物おく、乳汁を與ふる獸類おく、又運搬の用に供すべき獸類もなく、而して所謂文明の形跡は毛頭だにおかりき。

(濠洲及び亞弗利加の比較) 雙方の間著しき類似の點數者を左に掲ぐ。

一、兩陸共に其形狀一大團塊を成し外形頗る簡單にして、著き出入なし。
二、兩陸共に其東端に、最高山脈ありて、東南に最高峯あり。
三、內地に廣大なる砂漠を有し、其中に處々泉地あり。
四、其最も長き河の水量、海に至るに隨ひ減少す、即ちナイル河及びムルレイ河。
五、其東海岸の近傍南に流るゝ急潮を有す。

(位置及び境界) 濠洲は亞細亞の東南に在り、南緯十度より三十九度に至る、其境界左の如し。

一、北　トーレス(Torres)海峽及びアラフラ(Arafura)海
二、東　太平洋　三、南　南氷洋　四、西　印度洋

一、英國より濠洲まで、直航九千九百九十哩なり。
二、航海の船舶士運河を經て行きボルン岬を過ぎて返る。

（廣袤及び形狀）濠洲の面積凡そ三百萬方哩（タスマニヤを含む）歐洲より小あること殆ど其四分一ありとす、形狀頗る簡單にして、不規則なる平行方形を爲せり

（海岸線）濠洲の海岸線凸凹甚しからず、唯北方ヨーク（York）の一大半島長く海中に突出し、及びカーペンタリヤ（Carpentaria）の大灣深く陸地に侵入し、南方スペンサー（Spencer）灣の、フィオルド、の如きものあるのみ、南方の大濠斯太剌利亞灣の如きは、唯陸の少しく彎曲したるに過ずして、勿論舟泊に適せざるなり。

（組織）濠洲內地の四分三は高野にして、此高野は南方より次第に北方に高く、西方より次第に東方に高しとす、この平野の面積は百五十萬方哩あり、高野の中央には、アマデュース（Amadeus）湖沼へ、高野の周圍には、山嶽峙てり、山嶽と海との間は總て低原なりとす、ムルレー（Murray）及び其深河の流域は、國の四分一を占む、要するに此大陸は全海岸を廻れる狹き平原、一大流域、一大高野（概ね砂漠なり）より成るものとす。

（山嶽）南方ウィルソン（Wilson）海角より、北方ヨーク半嶋に走れる山脈を以て最も重要なるものとす、其山脈メルボーン（Melbourne）の西方に始まり、北方に向ひ、次第に低く、遂にヨーク半嶋に終る、海岸の平原とムルレー流域とを分つ所のものあり、脈中ワーラゴング（Warragong）山、即ち濠斯太剌利亞アルプス（Australian Alps）ハ頗る高く、コッシュスコー山彙（Kosciusko Group）其中に在り、うの最高峰をマウントタウンセンド（Mount Townsend）と曰ふ、高さ七千三百五十呎に達す、

（原野）低原は主としてムルレー流域より成り、面積殆んと五十萬方哩を占め、其地甚だ肥沃あり高原は平均凡そ五百呎の高さを有し、概ね砂漠にして唯泉地の間々耕作すべきものあるのみ、

（河流）濠洲の大河はムルレーとす、河口より其最長深河なるダーリング（Darling）の水源に至るまで、長さ二千三百四十五哩あり、ムルレーハ濠洲商業の大路なり、其他東海岸には、ブイッロイ及びバーデキンあり、北海岸にはフリンダースあり、西海岸にハアシュバートン及びスワンあり、

（湖沼）スペンサー灣の北方は湖沼地方（凡そ一萬方哩なり）にして、湖沼甚だ多く、其大なるも

のをアイル(Eyre)湖と曰ふ。其南方にトーレンス(Torrens)湖あり、西方にゲールドナー(Gairdner)湖あり、遙か西北にアマヂュース湖あり、アレキサンドリナ(Alexandrina)湖は、大なる淡水湖にしてムルレー河之に注ぐ。

(氣候)　乾燥酷熱は濠洲氣候の特性にして、全大陸至る處然らざるはなし。降雨の節は熱帶に在りては十一月より四月までにして、熱帶以外に在りては五月より十月までなりとす。溫度の激變は亦濠洲氣候の常にして、時として數時間の中に、寒暖計二十八度乃至三十三度を下ることあり、而して內地より熱風(普通塵埃を交ふ)吹くときは、六十四度に上ると云ふ。

(植物)　濠洲は植物の種類頗る多く、殆ど一萬に及ぶ。特有なる樹木を有加利樹及び荊球花と爲す。穀物果實等は、濠洲に產せざりしも今此地に移植せられて、葡萄、無花果、橙、桃、其他小麥、玉蜀黍の如き穀類大に繁茂し、歐洲に凌駕するの勢あり。

(動物)　濠洲の動物は大に他洲と異なり、他洲に於るが如き胎生獸は全く無し。ジャバ、スマトラの虎、象、犀の如きも、亦全く此地に見ず。此特有のものを有袋獸と爲し、有袋獸の最大なるものを長尾驢と爲す。肉食動物中最も猛惡なるものは、ヂンゴ(野犬)なり。最も奇なるものは鴨嘴(duck-bill)なり。濠洲產の動物は、其植物と同じく、一も人類の用に供すべきものなきも、牛馬羊の如き、現今輸入せられて、大に其數を增加せり。鳥類に至りては、其羽毛の美なる、其形の偉麗なる他の諸國之に比するものなく、其種類も亦甚だ多し。濠洲特有の鳥を、駝鳥の一種なる食火鷄とす。此大陸は又蟲類に富み、其形頗る奇にして美麗あり、蛇類は皆有毒あり。

(礦物)　濠洲に於て礦物甚だ多く、金、銅、鐵、錫、石炭の如き、各殖民地に於て多量を出す。銀は又新南威勒士(New South Wales)に出づ。

一、金の產出地はビクトリヤ(Victoria)を以て最とし、クインスランド(Queensland)之に次ぐ。ビクトリヤに於ては其產出高前四十年間に於て、凡そ二億磅なりと云ふ。濠洲全體の產出を算すれば、三億磅に下らざるべし。

二、銅は亞に南濠斯太剌利亞に出づ。

三、クインスランドには錫最も多し。

四、銀は、各殖民地概ね多量を出す。

五、炭田の大なるものは、新南威勒士及びクインスランドに在り。

六、紅水晶、紅寶石、碧玉の如き、亦此國に出づ。

（人民）土人又頗る他洲と異あり、其人種は濠斯太剌利亞黑人なり、今其數非常に減少して三萬餘に過ぎず、殖民人者は現今三百萬に達し、概ね英人の子孫にして、英語を用ふ。

（道路鐵道）各大都府は、鐵道を以て互に相連絡せり、鐵道の便はかく大に開けたりと雖も、普通の道路は修築未だ成らず、遠方に旅行するは容易にして、近傍に旅行するは困難なる有樣あり。

（區劃）濠洲には數多の殖民地ありて、各皆政府及び議會を有し、又本國女王の任命したる總督あり、此等の殖民地をビクトリア、新南威勒士、クインスランド、南濠斯太剌利亞及び西濠斯太剌利亞（此國のみその議會を有せず）と曰ふ、ビクトリヤは其最小あるものにして、人口は最も多きものなり、反之西濠斯太剌利亞は、最大なるものあれども、人口最も稀薄ありとす。

（ビクトリヤ）此國は濠洲に於て最も小なるものなれども、最も富み、製造最も盛にして、又人口最も多き地方ありとす、北方ムルレー河を以て限となし、西方南濠

斯太剌利亞に接し他の二方海に面す、其の南方にビレニース、グランピアン等の山脈あり、東方に濠斯太剌利亞アルプスあり、人口は百萬餘、舟航すべき河流甚だ少し。

（產業）牧羊、農業及び鑛業は、此國主要の產業にして、大なる輸出物を羊毛となし、金麵粉之に次ぐ、輸入の最も大なるものを木綿、材木、鐵及び石炭と爲す、鐵道の延長殆んど二千哩にして、電線四千餘哩に及べり。

（都府）ビクトリヤには人口二萬以上の都府四あり、メルボルン、バララット（Ballarat）、サンダースト（Sandhurst）及びギーロング（Geelong）と爲す、メルボルンは人口四十五萬を有しヤーラ（Yarra）河に臨み、國の首府にして、又最も大なる商工府とす。

（新南威勒士）此殖民地は、濠洲に於て最も古きものあり、長さ殆んど九百哩、幅六百哩、山岳高地及び平原より成る、國を貫走する山脈の主要なるものを藍山、リバープール（Liverpool）山脈及び新英蘭山脈と爲す、其面積ビクトリヤに四倍すれども、人口は之より少し、其境界北クインスランドに接し、東太平洋に面し、南ビクトリヤに界し、西は南濠斯太剌利亞と隣る。

（產業）主要の產業を牧羊業及び農業と爲し、鑛業亦行はる、輸出品の重なるもの

を羊毛、穀類となし、石炭、錫は遙に下て之に次ぐ、輸入の大なるものを毛布及び木綿織物と爲す。鐵道の延長二千哩、電線二萬二千哩に達す。

(都府) 都府の大なるもの唯一あり、首府をシドニー(Sydney)と爲す、人口四十萬あり、其他人口一萬以上のもの四あり、メートランド(Maitland)、ニューカッスル(New Castle)、バラマッタ(Paramatta)及びバサースト(Bathurst)是なり。

(クインスランド) クインスランドは濠洲の最北に在り、其地大半熱帶に在りて氣候最も酷熱なり、長さ千三百哩、幅八百哩、面積佛國の三倍餘なり、海岸に沿うて山脈連走し、高地最も多し、全國一半は森林を以て蔽はる、斜面四あり、河流東西南北の四方に流る、ブイッロイ(Fitzroy)及びバーデキン(Burdekin)河は其大なるものなり。人口五十萬あり。

(産業) 主要の産業を牧羊業、農業及鑛業と爲す、玉蜀黍の産出最も多く甘蔗の培養逐時盛大に向へり、輸出の重なるものを羊毛、金及び砂糖とし、輸入の重なるものを鐵及び木綿と爲す、鐵道の延長殆二千哩、電線九千哩に達す。

(都府) 首府ブリスベーン(Brisbane)は人口八萬あり、其他人口一萬以上のもの二、

ロックハンプトン(Rockhampton)及びメーリーボロー(Maryborough)是あり。

(南濠斯太剌利亞) 濠洲第二の大殖民地なれども、殖民せられたる處は、僅に其小部分に過ぎず、長さ二千哩、幅八百哩、面積凡そ百萬方哩、人口三十五萬皆南部に住居す。フリンダース(Flinders)は主要の山脈にしてフインククリーク(Finke Creek)は主要の河流なり。

(産業) 此國は濠洲第一の小麥生産國あり、農業に次で盛なる産業を鑛業、牧羊業及び葡萄酒製造と爲す。羊毛、小麥、銅は輸出品の重なるものにして、鐵、木綿、毛布、器械等は輸入品の重なるものなり。鐵道の延長千八百哩、電線六千哩あり。

(都府) 都府の肝要なるもの唯一あり、アデレード(Adelaide)と曰ふ、首府にして、人口七萬を有す。

(西濠斯太剌利亞) 此殖民地は全大陸の三分一を占むる大地方なれども、概ね砂漠にして海岸に於ける三小部の殖民せらるゝものあるのみ、人口總計僅に五萬に過ぎず。羊毛及び鉛は、主要の輸出品なり。首府をパース(Perth)と曰ふ、スワン(Swan)河に臨む、鐵道の延長五百哩、電線三千哩あり。

（タスマニヤ）　タスマニヤは殆んと葉格圖（其附屬嶋嶼を除く）の大さを有し、海岸線頗る長く、凸凹甚しく、良港多し、嶋の中央に高地あり、之を圍みて山脈峯嶺高く聳ゑ、四斜面之より出づデルウエント(Derwent)及びタマール(Tamar)の二大河、南及び北に走る、其他小流多く、河邊の風色は極めて明媚なり、中央高地には湖水甚だ多し、全嶋の氣候、濠洲に比して、冷涼清適なるを以て此嶋は一の保養地とおれり、首府をホバート(Hobart)と曰ひ、要港をローンセストン(Launceston)と曰ふ、ホバートは、人口三萬あり、輸出の主要おるものを羊毛、錫、果實、材木及び金と爲す、全嶋の人口十四萬に過ぎず。

（ニユージーランド）　濠斯太剌利亞を離るゝと殆んと千二百哩、南緯卅七度より四十七度間に擴り、全く溫帶圏中に在る一群の島嶼を稱してニユージーランドと曰ふ、此群嶋は、北嶋、南嶋の二大嶋とスチユアート(Stewart)の一小嶋より成る、二大嶋合して、英國（威勒士を除く）の二倍より少しく大なり、其表面山岳頗る多く、一大山脈長く兩嶋を貫いて南北に走る、河湖多く、全嶋善く潤へり、海岸線長く、良港亦少からず、兩大島を分つものをクック(Cook)海峽と爲す。

ニユージーランドは、其形狀殆ど伊太利と同樣あり、唯伊太利は右足の靴の如く、ニユージーランドは左足のもの如きなり。

（地勢）　兩嶋共に山多くして崎嶇たり、唯西方に狹き平原、東方に少しく廣き平野あり、南嶋は北嶋より山嶽多く、高山脈西岸に沿うて走る、之を南方アルプスと稱す。クック山は其最高峰にして、高さ一萬二千三百五十呎あり、北嶋に於て最高の山脈は、東海岸に近き所にあり、皆火山あり、其最も高き峰をエグモント(Egmont)山となす、高さ八千二百七十呎あり、トーポ(Taupo)湖はニユージーランド第一の大湖にして、北嶋にあり、ウエーカト(Waikato)河之より出づ、平原の最も廣きものは、南嶋の東側に在り、カンターバリー平原(Canterbury plain)と稱す。

（氣候植物等）　ニユージーランドの氣候は溫暖にして、均一ありとす、海軟風夏熱を和げ、冬時溫暖を增す、西北風常に雨氣を帶びて大洋より吹き來るを以て西海岸は東岸に比して降雨多しとす、此國に產する材木は、重に松柏類にして、其「コーリ」松は、最も有價なるものなりとす、穀類果實は元來此地に產せざりしが、今は殖民人之を輸入せり、ニユージーランドの動物は、頗る奇あり、有袋獸は毫もおし、此地固有の

鳥を「アプテリックス」と稱し、羽翼短くして、地を走る。

(産業) 主要の産業を牧羊業、農業及び鑛業と爲す、最も大なる輸出は羊毛にして、金、穀物、凍氷肉及び「コーリ」護謨之に次ぐ濠斯太剌利亞との貿易頗る盛あり。

一、兩嶋合して鐵道の延長殆んど二千哩、電線殆んど五千哩あり、

二、千八百五十七年以來此嶋より出でたる金の總額四千五百萬磅以上に達せりと云ふ、鑛の鑛山亦多し。

(都府) ニュージーランドには、人口二萬以上の都府四あり、即ち北嶋にてはオークランド(Auklandi)、ウエリントン(Wellington)、南嶋にてはヂユネヂン(Dunedin)及びクリストチャーチ(Christchurch)是なり、オークランドは、最も大なるものにして、ホーラキ(Hauraki)灣邊に立つ、人口六萬あり、首府をウエリントン(三萬)となす。

ニュージーランドの人口、殆んと六十萬あり。其中四萬許は「マオリー」種族なりとす。此人種は土族に非ず、ポリヂシヤに於ける嶋嶼より渡來したるものなり。

マレイシヤ

(緒說) マレイシヤ即ち東印度諸嶋は、亞細亞の東南に位し、赤道に跨り、經緯度殆ど三十度に擴がる。

一、マカツサル海峽(Macassar)よりバリ、ロンボツク二小嶋の間に、一線を劃し、此線より以西の諸嶋は動植物共に亞細亞的なり、以東の諸嶋は動植物共に濠洲的なり。

二、此群嶋は火山に富み、又世界第一の沃地なりとす。

(區劃) 此大群嶋は、分ちて四と爲す、大サンダ諸嶋、小サンダ諸嶋、モラツカ諸嶋(Moluccas)及びフイリツピン諸島是なり。

一、スマトラは動物の大なるものを產するを以て名あり(即ち象犀如き、犀の如き、鱷如き、猩々の如き是なり)。此嶋は又胡椒及び「ラツフレシア」(世界第一の大花)を以て有名なり。

二、ジヤバ(Java)は最良の藍、及麻果樹を產し、又珈琲、砂糖、米、茶等を產すること夥し。

三、ボルチオ(Borneo)は、金、金剛石其他の寶石を產するを以て名あり。

四、バンカ(Banca)は、世界に於て、最も多く錫を產する所なり。

五、アンボイナ(Amboyna)は香料、セラム(Ceram)は四穀米、フイリツピン諸嶋は還草の本國と稱

すべし。

六、マラッカ海峡は、マレー半島とスマトラ島との間に在るものにして、サンダ海峡はスマトラとジヤバとを分ち、マカッサー海峡はボルネオとセレベス(Celebes)とを分つ。

(氣候及び植物) 大洋の風幾分か熱帶の酷熱を和ぐるを以て、濕潤なる地方を除く、の外概ね其氣候は健康を害せず而して其風は大抵雨氣を帶び、且此群嶋は赤道降雨帶に在るを以て、植物は夥多なりとす。高地は深林之を蔽ひ、低地は頗る豊饒なり。胡桃甘蔗及び西穀米樹等を著名なる樹木とし、香料、砂糖珈琲及米を主要の農産物となす。

(人民) 此群嶋に於て最も多く又最も重要なるものを馬來人種と爲す、群嶋の人口殆ど四千万あり。

馬來人は怜悧なる水夫にして、頗る活潑なる貿易者なれども、群嶋に於ける貿易は大概英人、蘭人、支那人及び米人の手に在り。

(商業) 此群島と亞細亞、歐羅巴、亞米利加との間にハ、頗る活潑盛大なる貿易行はる、而して歐人の中、主として此貿易に從事するものを英人及蘭人と爲す、亞米利加

人は數多の貿易場を有し、支那人は殆ど亞細亞との貿易を掌握せり。

一、歐洲及亞米利加に輸出するものは、重に香料、烟草、珈琲、藍、米、砂糖、蓖甲、西穀米及マニラ麻あり。

二、支那に輸出するものは主として食用に供する鳥巣及海參なり。

(政治上の區劃) 和蘭及西班牙は此群嶋より於て大なる地方を領するものにして英國は主としてボルネオに其基礎を有す、然るども尚土人の手に屬する土地は多しとす

英國は新嘉坡、ラブアン(Labuan)を有し、又ボルネオの二大部分は、其保護の下に在り。

(蘭領) マレイ群嶋に於て、蘭領の主要なるものはジヤバ、モラッカ諸嶋、スマトラ、ボルネオ及セレベスあり。

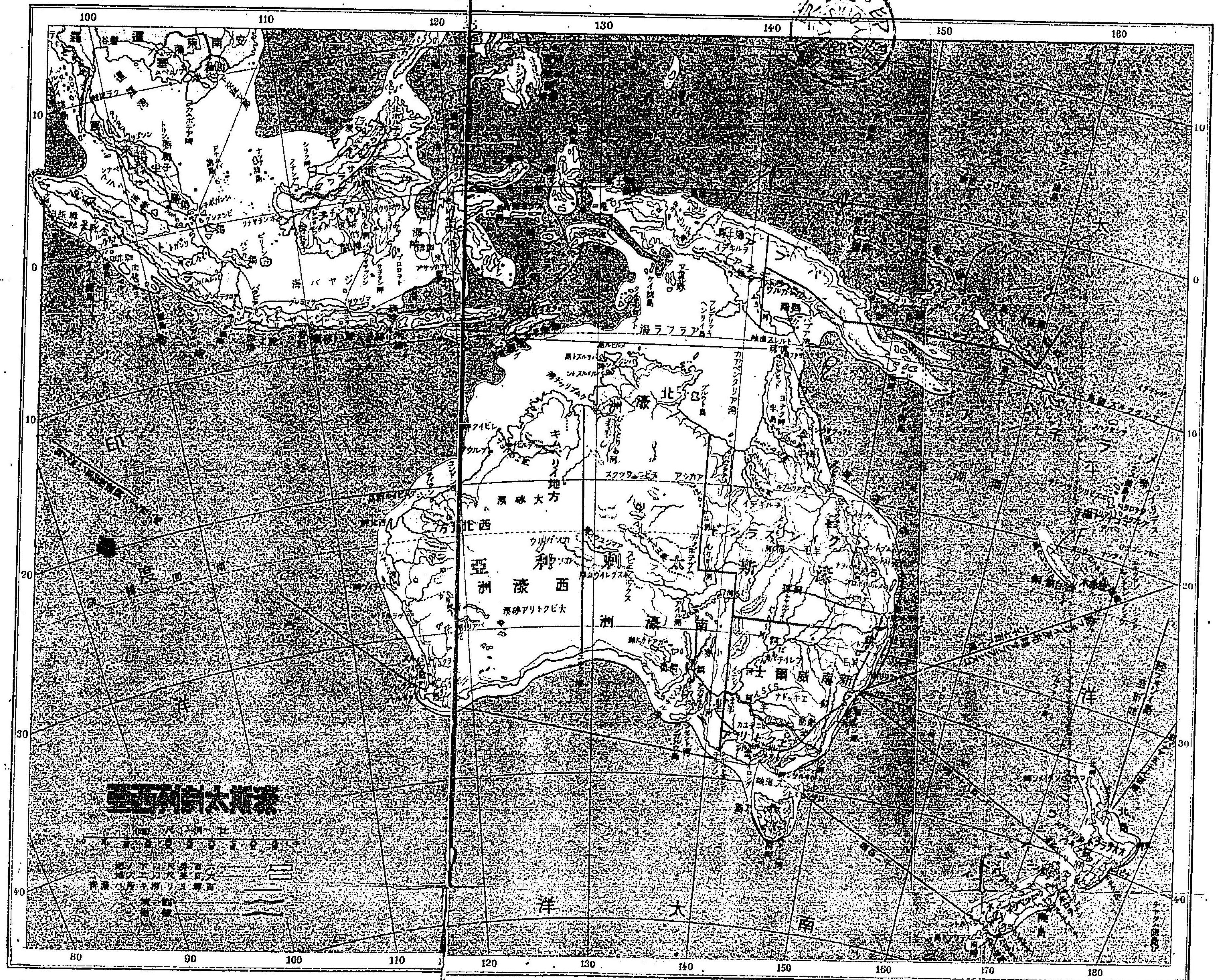
一、ジヤバは狹長なる嶋嶼にして、人口二千五百万あり、一の長き山脈國の中央を貫走す、此山脈に四十六の高峻なる火山あり、其中高さ一萬呎以上のもの八あり。地味は頗る豊饒とす。首府をバタビヤ(Batavia)人口二十五万)と曰ふ。但しスラバヤ(Surabaya)を以て最大都府とす。輸出品の主要なるものは、砂糖、珈琲、茶、藍、米、「シンコナ」、烟草及錫にして、其五分四は和蘭に至る。鐵道、馬車線路、及び電信線現時嶋内に設けらる。

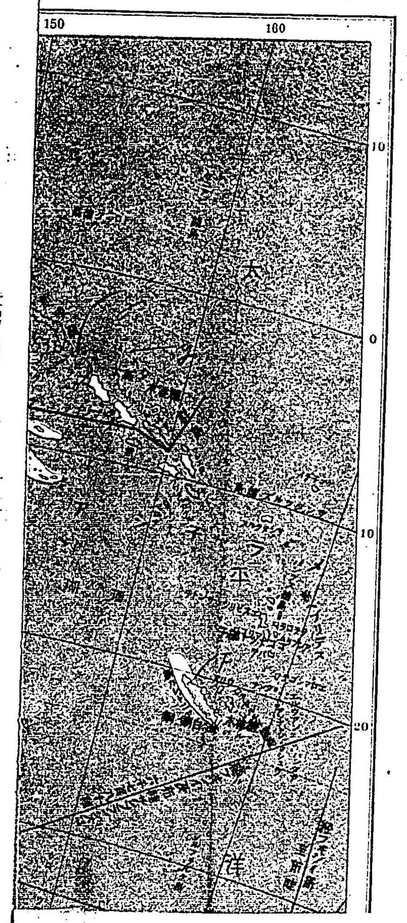
二、セウツカ諸嶋はセレベスとニユーギニアの間に横はれる群嶋にして、ギロロ(Gilolo)嶋其最も大なるものなり、此諸嶋には植物の種類多く、殊に丁子の本國として知らる。群嶋中最も重要なるものをアンボイナ(Amboyna)と爲す、商業盛ふるアンボイナ(二萬)府は即ち此嶋に在り。

三、スマトラは長き大嶋にして、一大山脈嶋中を貫走し、五火山及其他數多の熄火山を有す。其最も高きものをタランガ(Talang)とす、高さ一萬二百五十呎なり。スマトラは甚だ礦物に富み、石炭・硫黄・銀及金等次第に發見せらる。此嶋の一半以上は、和蘭に屬す、全嶋の人口二百万、最大都府をパダンガ(Padang)と曰ふ。

四、ボルネオは世界第二の大嶋なり。山岳丘陵頗る多く、平原及び濕潤なる低海岸亦た廣し最高の山をキニバロー(Kini Balou)と曰ふ、高さ一萬三千呎あり。火山一もなし。此嶋は石炭「アンチモニー」、水銀、黄金及金剛石に富む。和蘭は嶋の大半を領し、唯サラワック(Sarawak)及北ボルネオは商會の地方は英國保護の下に立てり。頗る良好の石炭層多を有するラブアン嶋は、英領なりとす。ボルネオの貿易品は、主として西穀米、蜂蜜、鳥巣、樟腦、海參及龜甲ふり、最大都府をブルニ(Brunei)とす。

五、セレベスは其形狀奇なる嶋嶼にして、殆ど K 字を爲せり。其半嶋は、皆山脈を以て貫き、熄火山多し、多量の金を産出す。此嶋の北半部は、和蘭に屬し、南半部は九個の回教土人國ル


濠斯太剌利西亞
比例尺



す、マカッサー府は貿易の中心なり。

（西班牙領）西班牙はフィリッピン群嶋を領す、其群嶋の最大なるものをルゾン(Luzon)と曰ふ、之に次で大なるものをミンダナオ(Mindanao)と曰ふ、ルゾンの首府はマニラ(Manilla)あり、人口廿八萬あり、商業甚た繁盛なる海港にして、砂糖、米、麻布及煙草を輸出す。

一、この群嶋の人民は、馬來及チャットの二人種より成る。

二、支那人は此嶋に於て主要なる商人にして、又主要の商店主なり。

三、群嶋の北部に、屢々暴風起る、千八百五十六年には、非常の暴風ありて、マニラに於て一萬の家屋を破壞せりと云ふ。

ポリネシヤ

（緒說）太平洋に散布せる嶋嶼を總稱して普通ポリネシヤと曰ふ、然れども此等

の嶋嶼は、之をメラネシヤ、マイクロネシヤ及びポリネシヤの三に分つを以て至當となす

一、ポリネシヤの諸嶋は、火山的のものに非ざれば、珊瑚嶋にして、又両者相合して成れるものあり。珊瑚嶋最も多く、皆環礁より成り、大抵海上に隆起すること數尺に過ぎず、中に海水を包む。火山的群嶋は、往々珊瑚礁を周圍に有す

二、サンドウィッチ(Sandwich)、フレンドリー(Friendly)及びソサイチー(Society)諸嶋は、皆火山嶋にして、カロリン諸嶋(Carolines)、マーシャル(Marshal)諸嶋及び低群嶋(Low Archipelago)は皆珊瑚嶋なりとす。

（主要の二群嶋）　太平洋中最も重要なる二群嶋を、北方に於てサンドウィッチ諸嶋(北緯廿度)南方に於てフイジー(Fiji)諸嶋(南緯廿度)と爲す、両者相離るゝこと殆んど四千哩にして、共に亞細亞亞米利加及び濠洲間を往來する英米汽船の寄泊處にして、將來太平洋貿易の中心となるべき處なり。

一、サンドウイッチ諸嶋は、北回歸線の南に接せり、七嶋より成り、皆火山的なり。其最も大なるものを布哇(Hawaii)と曰ひ、オアフ(Oahu)嶋之に次ぐ。布哇嶋に活火山四あり、其三はポリネシヤに於て、最も高きものにして、モーナキー(一萬三千八百四十呎)及モーナロア(一萬

三千六百五十呎)は、其最も高きものなり。各嶋地味頗る豊饒ゐして、砂糖及米を主要の収穫となす。首府をホノルル(Honolulu)と曰ふ、オアフ嶋に在り、甚た良港にして、港内水深く、大船巨舶を入るゝに足る。此群嶋に於て、最も勢力あるものは、亞米利加となす。

二、フイジー諸嶋(英國に属す)は南回歸線の北少許の處に在り。嶋數二百餘中人民の住居するもの八十、其最も大なるものをビチレブ(Viti Levu)と曰ふ、バニユアレブ(Vanua Levu)之に次ぐ、共に火山嶋にして、山岳頗る多く、樹木繁茂し、地味甚た豊饒なり。産物の主要なるものは砂糖及び甘蔗等を爲す。首府をスバ(Bavu)と曰ふ、ビチレブ嶋に在り。ニユージーランド、濠斯太剌利亞、及び英國と此群嶋との間に、定期航海あり。

(メラネシヤ) モラツカ諸嶋及びフイジー諸嶋の間に横はる群嶋を總稱してメラネシヤと曰ふ、其住民は、パプアー種に属す。パプア(Papua)即ちニューギニヤ(New Guinea)は群嶋中最大のものにして其他重要なる諸嶋を擧くれば、ビスマーク(Bismark)諸嶋、サロモン(Salomon)諸嶋、ニューヘブリデス(New Hebrides)、ニューカレドニヤ(New Caledonia)及びフイジー諸嶋なり。

一、ニューギニヤは、世界の最大嶋にして面積三十萬方哩、赤道及びトーレス海峡間に横はり。四に モラツカ(Moluccas)諸嶋あり。此嶋山多く、中には一萬八千呎に達するものあり。地味甚た

豊饒、深林亦多し。歐洲の三強國、此嶋を分割せり、和蘭は西半部を有し、獨逸は東北を領し、英國は東南を占む。

二、ビスマーク諸島は元と新愛利顛(New Britain)と呼ばれたるものにして、晩近獨逸之を占領し、此名を付せり。人民は食人種屬ふり。

三、サロモン諸嶋は火山的群嶋にして、今獨逸に屬す、活火山一あり。

四、ニューヘブリデスは、東南に在り、又火山的群嶋にして、外方に少許の珊瑚嶋あり。

五、ニューカレドニヤは、メラネシヤ諸嶋の最南に在り、山岳多く、金及び多量の白金を出す。此嶋は佛國に屬し、犯罪人の適所なり。

六、フイジー諸嶋は英國に屬す、前に既きたり。

（マイクロネシヤ）マイクロネシヤ群嶋は概ね珊瑚島なり、最東のものをギルバート(Gilbert)及びマーシャル諸嶋と曰ひ、中央のものをカロリン(Caroline)諸嶋とあし、西北のものをマリアン(Marianne)又はシープス(Thieves)諸嶋と曰ふ。

一、ギルバート諸嶋は十六嶋より成る、皆珊瑚環礁ふり。其最も高きものは、海面より廿呎に上る。収穫の主要なるものは、椰子實と爲す、諸嶋皆人口稠密ふること太平洋中第一にして、平均一方哩三百三十人に當る。

二、マーシナル群嶋も、亦全く珊瑚質より成る、人口一萬あり。
三、カロリン群嶋は、海上殆ど二千哩に擴がる一帶の群嶋にして、一嶋を除く外皆環礁なり。
四、マリアン群嶋は、西班牙に屬す、熄火山頗る多し。

（ポリ子シヤ）ポリネシヤは、南緯廿度及び北緯廿度の間に横はる、其最重要なる群嶋を擧くればトンガ即ちフレンドリー諸嶋、サモア(Samoa)群嶋、ソサイチー諸嶋、ポーモツ(Paumotu)群嶋、マークエサス(Marquesas)及びサンドウィッチ諸嶋なり、住民多くは、褐色皮膚を有する「ポリネシヤ」人種に屬す。

一、フレンドリー諸嶋の最も大なるものをトンガタブ(Tongatabu)と曰ふ、濠斯太剌利亞及びニユーゥーランドよりサンドウィッチ諸嶋に至る汽船は皆之に寄港す、群嶋活火山多し。
二、サモア群嶋は、火山嶋にして、椰子實の輸出甚だ多し。
三、ソサイチー諸嶋は、佛國に屬す、群嶋の中重なるものをタヒチ(Tahiti)とす。全嶋流燒岩より成る、橙及び椰子實は、主要の産物にして首府をパピート(Papeete)と曰ふ。輸出の重なるものを、椰子實、眞珠、木綿(英國に出す)橙及び海鼠(支那に出す)を爲す。
四、ポーモツ群嶋は又低群嶋と稱す殆ど八十の嶋嶼より成り、皆珊瑚環礁ありとす、眞珠を産すること多し。

五、マークエサスは、火山的群嶋にして、珊瑚礁なし。

六、サンドウイツチ諸嶋はポリチシヤ中最北に位する群嶋なり、前に說きたり。

新撰萬國地理終

明治二十六年四月十三日印刷
同　四月十四日出版
同　十月三十日訂正再版印刷發行
同　二十七年四月十八日訂正三版印刷發行
同　九月二十日訂正四版印刷發行
同　二十八年三月十八日訂正五版印刷發行
同　七月五日訂正六版印刷發行
同　十月五日訂正七版印刷發行
同　二十九年三月廿一日訂正八版印刷發行
同　四月廿五日訂正九版印刷發行
同　三十年十二月三十一日訂正十版印刷
同　一月三日再訂正十版發行

新撰萬國地理與附
定價金壹圓

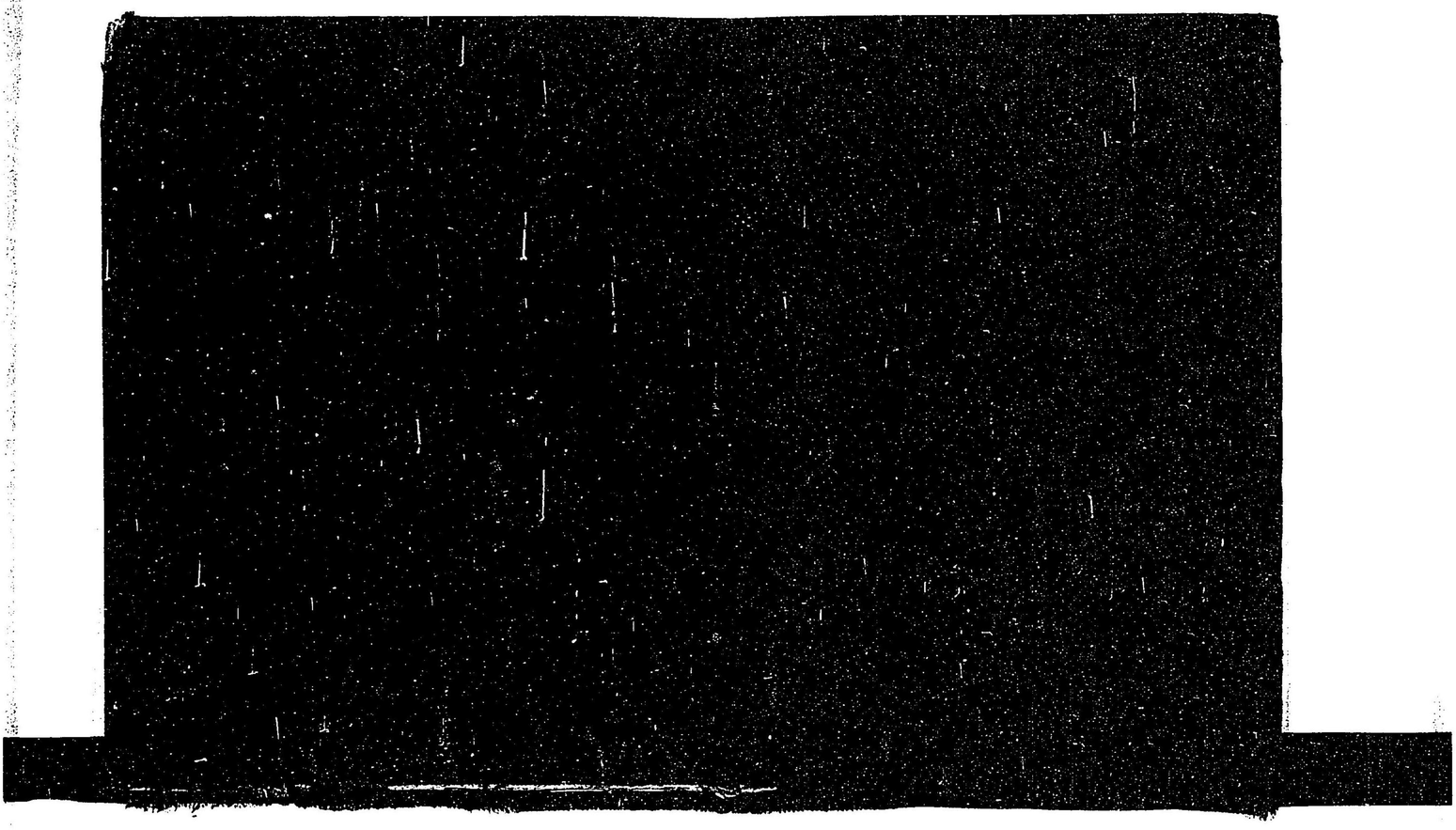
版權所有

編述者　東京市牛込區神樂坂町廿番地　山上萬次郎
編述者　滋賀縣彦根字尾末町五十番地　濱田俊三郎
發行者　東京市神田區裏神保町九番地　合資會社冨山房
代表者　合資會社冨山房社長　坂本嘉治馬
印刷者　東京市京橋區弓町十三番地　松本義弘
印刷所　仝所（電話千百四十八番）　績文舍

發兌元　合資會社　冨山房（電話本局千〇六十二番）

東京冨山房出版圖書大賣捌所

東京神田區	中西屋
仝仝	東京堂
仝仝	明法堂
仝仝	開新堂
仝仝	三省堂
仝仝	敬業社
仝仝	有斐閣
仝仝	牧野善兵衞
仝日本橋區	大倉書店
仝仝	林平次郎
仝仝	水野慶次郎
仝京橋區	東海堂
仝仝	青野友三郎
京都上京區	田中治兵衞
大坂東區	三木佐助
仝仝	吉岡平助
仝仝	柳原喜兵衞
仝仝	梅原龜七
仝仝	岡島眞七
神奈川橫濱	丸善書店
兵庫神戸	吉岡支店
長崎市	安中書店
仝	鶴野書店
新潟水原	西村六平
新潟長岡	目黒十郎
仝高田	高橋書店
埼玉加須	尙古堂
千葉東金	多田屋本店
千葉本町	多田屋支店
茨城水戸	川又銀藏
仝石岡	高木市兵衞
栃木宇都宮	田中正太郎
仝	內田資吉
群馬前橋	煥乎堂
仝高崎	煥乎堂
奈良三條	藻文堂
三重津市	河島書店
愛知名古屋市	川瀨代助
仝仝	片野書店
靜岡市	吉見書店
仝	廣瀨書店
仝濱松	谷嶋屋書店
仝掛川	三原屋書店
仝沼津	渡邊八重吉
山梨甲府	柳正堂
岐阜市	貫道舍
仝仝	都文堂
長野長野町	西澤喜太郎
仝松本町	水琴堂
仝上田町	西澤支店
宮城仙臺	高藤書店
福島福嶋市	上野屋書店
仝郡山	富屋書店
仝會津	田中善平
仝白河	奧村書店
仝須賀川	寶來屋太平
靑森市	鎌田書店
弘前	今泉道次郎
八戸	伊吉書店
仝浦山	靑霞堂
山形市	五十嵐書店
秋田市	成見書店
仝平鹿郡	東海林書店
福井市	日新館
富山市	中田書店
石川金澤市	雲根堂
嶋根松江市	川岡清助
岡山市	森博文堂
廣嶋市	積善館支店
山口市	石光書店
和歌山和歌山	三宅小次郎
德嶋市	坂井萬吉
香川高松	宮脇書店
愛媛伊豫	土肥與平
高知市	澤本駒吉
福岡博多	森岡書店
仝仝	積善館支店
佐賀市	河內汲古堂
大分市	山川正三郎
熊本市	長崎次郎
鹿兒嶋鹿兒嶋	吉田幸兵衞
北海道函館	魁文舍
仝小樽	白鳥書店
仝札幌	自治堂書店



13
237
Ⓜ

022010-000-2

43-237

新撰万国地理

山上 万次郎
浜田 俊三郎／編

M30
ADA-0284